

観光ビッグデータの活用による
東北圏の宿泊旅行市場構造に関する調査

2021 年 7 月



公益財団法人

東北活性化研究センター

目次

要 旨	2
1. はじめに	5
2. 調査手法	5
2-1. 調査概要	5
2-2. 使用データ	5
2-3. 圏域の定義	6
3. トレンド分析	7
3-1. 東北圏の傾向	7
3-1-1. 宿泊者数の推移（全体）	7
3-1-2. 宿泊者数の推移（宿泊者属性による比較）	12
① 居住地別（出発地）	12
② 年代別	24
③ 参加形態別	33
3-2. 他地域との比較	42
① 居住地別（出発地）	42
② 年代別	46
③ 参加形態別	50
4. マイクロツーリズムに関する分析	55
4-1. ポジショニング分析	55
4-1-1. 分析方法	55
4-1-2. 分析結果	58
① 年代別	60
② 参加形態別	61
4-2. マイクロツーリズム指数	62
4-2-1. 分析方法	62
4-2-2. 分析結果	63
5. まとめ	64

要 旨

- 本書では、コロナ禍における国内宿泊市場の変化と今後の需要喚起策を検証するため、観光予報プラットフォームが提供する国内宿泊ビッグデータ 6 億 7,859 万泊（実際の宿泊予約・販売の累積データ 1 億 4 千万泊に基づく拡大推計データ）を用いて、従来は把握が難しかった国内宿泊市場の実態について、居住地別、年代別、参加形態別の分析を行った。
- 2020 年度の東北圏の宿泊者数は 3,138 万人、前年度比▲35.6%減の大幅な減少となり、コロナ前の 2019 年度の水準の約 3 分の 2 まで減少した。
- 居住地別に見ると、最大の需要先である首都圏からの宿泊数が前年度比▲47.7%減、シェア▲10.4%ポイント減（55.7%→45.2%）と大幅な減少となったものの、東北圏からの宿泊者数が前年度比+4.1%増、シェア+15%ポイント増（24.4%→39.5%）と需要を下支えた。
- 年代別に見ると、30 代、40 代、70 代のシェアが減少する一方、20 代、50 代、60 代のシェアが増加した。全年代で旅行を手控える傾向がある中、20 代の若者や 50 代、60 代のアクティブシニア層が、感染対策に留意しつつ積極的に宿泊旅行に出かけた傾向がうかがわれる。
- 参加形態別に見ると、家族、グループ旅行のシェアが減少する一方、夫婦、カップル、一人旅のシェアが増加した。コロナ禍における感染防止意識の高まりから、大人数での旅行は避け、少人数での旅行にシフトした傾向がうかがわれる。
- 以上より、コロナ禍における東北圏の宿泊市場の需要構造は、コロナ前の首都圏居住者中心から東北圏居住者中心へ、30 代から 60 代の幅広い年代層から 20 代、50 代、60 代の若年、アクティブシニア層へ、家族、グループによる大人数旅行から夫婦、カップル、一人旅の少人数旅行へとシフトしたことがうかがわれる。
- 同様の傾向は、全国の全ての地域に現れており、感染症に対する予防意識の高まりや、各地域における県民限定割引等の活用によるマイクロツーリズムへのシフトなどが、国内宿泊者の行動変容を全国的に促したと推測される。
- マイクロツーリズムに対する旅行者の行動特性の把握を目的としたポジショニング分析（次頁ポジショニング分析の概要参照）からは、2020 年度の県別のポジショニングは、山形県、福島県が「マイクロツーリズム進展型市場」、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、新潟県が「マイクロツーリズム貢献型市場」に分類される。東北圏は他地域に比べ、従来からマイクロツーリズム型の市場構造であったが、コロナ禍においてより自県内を旅行する傾向が強くなることで旅行者率が高くなる一方で、隣県の獲得率には寄与しなくなった結果、獲得率は全国平均値と比較して小幅な上昇であった。

- さらに、マイクロツーリズムの進展度合いを指標化した分析では、東北圏は全ての県で全国平均を大きく上回る水準でマイクロツーリズムが進展し、多くの県が全国トップクラスに位置付けられた。
- こうした背景には、東北圏はコロナ感染症の拡大が他地域に比べ抑制されていたことや、7月の東北観光推進機構による「東北・新潟応援！絆キャンペーン」による域内観光流動に向けた取組みや、9月に東北・新潟の県知事等による東北・新潟域内の観光流動活性化のための「東北・新潟共同メッセージ」など東北・新潟が一体となった取組みが発表され、関連する各県の旅行キャンペーン効果があったこと、などが考えられる。

(ポジショニング分析の概要)

ある県居住者のマイクロツーリズム圏内となる自県および隣県への旅行者数の割合を「マイクロツーリズム旅行者率 (α)」、マイクロツーリズム圏内から当該県を訪れる宿泊者数の割合を「マイクロツーリズム獲得率 (β)」とそれぞれ定義。

(定義式)

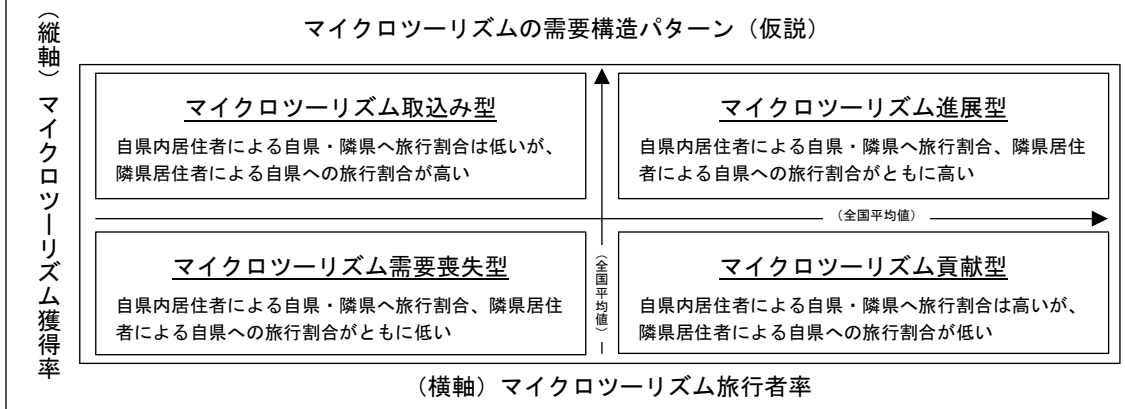
マイクロツーリズム旅行者率 (α)

= 当該県から当該県および隣県への宿泊者数 / 当該県を出発地とする宿泊者総数

マイクロツーリズム獲得率 (β)

= 隣県から当該県への宿泊者数 / 当該県を目的地とする宿泊者総数

47都道府県の比率を求め、全国平均値を軸とした四象限にプロットすることで、東北圏各県の動向に関するポジショニング分析を実施。



- 本分析結果から、東北圏全体の観光市場の底上げに向けた課題は以下が挙げられ、アフターコロナも見据えた今後の方策を考えるうえで参考とされたい。

【アフターコロナを見据えた東北圏の観光の課題】

○データに基づく行動変容を捉えた集客

コロナ禍では、従来は集客が見込めた夏祭りや各種イベントが一部で中止されるとともに、旅行者の居住地や年代、参加形態によって行動変容の傾向が異なるなど、従前に蓄積されたデータでは戦略立案が困難な場合も想定される。

今回の分析では、20代の若者や、50代、60代のアクティブシニア層が宿泊旅行に対し積極的な傾向にあり、旅のスタイルとしては夫婦、カップルや一人旅といった少人数旅行が好まれる傾向が見えた。また、コロナ感染症の危機意識の高まりから、比較的旅行には消極的であった30代や家族はマイクロツーリズムを好む傾向にあった。

このような宿泊者属性毎に異なる行動変容を捉え、新たな需要層の取込みやリピート需要の獲得につながるよう、コロナ禍で従来とは異なる傾向で揺れ動くデータに基づく誘客戦略の立案と、実施結果のモニタリングをこまめに重ねることが求められる。

○広域連携によるマイクロツーリズムの進展

東北圏は他地域に比べ従来からマイクロツーリズムが進展している地域であるが、コロナ禍において各県が実施した県民限定の旅行補助などを背景に、さらにその傾向が強くなり、なかでも各県在住者による自県内旅行の割合が高いことが分かった。

その一方で、各自県内の居住者に大きく依存した市場では、市場規模にも限界があると考えられる。そのため、東北圏各県において周辺隣県も含めた広域連携による圏域内の市場拡大や、域内流動をさらに高める取組みが求められる。

今後、コロナ感染症の収束に伴い首都圏など域外需要の回復が期待されるが、こうした域外需要の回復に過度に依存せず、マイクロツーリズムを含む域内流動を促進することが、東北圏の観光市場をより底堅く、強固なものにしていくものと考えられる。その取組みを通じ域内観光地の磨き上げが継続的に行われることで、東北圏域外在住の旅行者にとって、更にはやがて迎え入れるであろうインバウンドにとっても、魅力的な市場形成につながるものと考えられる。

[担当：調査研究部 主任研究員 平岡 清春]

1. はじめに

東北圏は他地域に先行して人口減少が進行している中で、国内旅行市場の振興は、観光業および周辺産業の活性化や、関係人口拡大の機会獲得に繋がることなどから、地域活性化の有用な施策の一つに挙げられる。

そのような中、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ感染症という。）の拡大影響によって、インバウンド需要はおろか国内観光需要までもが消失しており、国内旅行市場の需要喚起はより重要性を増している。

本調査は、こうした東北圏における国内旅行市場振興の一助とすべく、戦略立案の基礎となる東北圏の宿泊旅行市場構造の特徴を把握し、振興に向けた方策の方向性の提示を目指すものである。

2. 調査手法

2-1. 調査概要

全国 47 都道府県の 2019 年度・2020 年度の直近 2 か年度の宿泊者数データを用いて、東北圏および東北圏各県の宿泊者数の推移や、東北圏と他地域との比較によるトレンド分析を行った。分析では、宿泊地（目的地）データに対し、居住地（出発地）等の宿泊者属性データをクロス集計することで、東北圏内の宿泊者の特徴把握を行った。

さらに、コロナ禍における旅行スタイルとして注目されるマイクロツーリズムの状況について、居住地（出発地）と自県および隣県間の宿泊旅行者数の来訪比率を指標化することにより、その進展状況を分析した。

2-2. 使用データ

本分析では、観光予報プラットフォームが提供する国内宿泊に関するビッグデータ 6 億 7,859 万泊を使用した。同プラットフォームが扱うデータは、実際の宿泊予約・販売データ（旅行会社店頭予約・販売、ネット予約・販売などの累積データ 1 億 4 千万泊*）をベースに、観光庁「宿泊旅行統計調査」等の公的な統計に基づいて拡大推計した宿泊データであり、①観光庁「宿泊旅行統計調査」の「居住地集計」が従業員数 100 人以上の施設を対象としているのに対し、本データの対象には全ての規模の宿泊施設が含まれていること（＝カバレッジの大きさ）、②観光庁「宿泊旅行統計調査」の「居住地集計」は宿泊者総数の把握しかできないが、本データの宿泊者属性には「居住地」「年齢」「参加形態」などの属性情報も含まれていること（＝きめ細かなメッシュでの分析が可能）、などの特徴がある。本分析では、これら属性情報を切り口とすることで、従来は把握が難しかった全ての規模の宿泊施設を対象に、より細かいメッシュでの宿泊需要層の把握を試みた。

* 観光・ビジネス・その他の目的の如何を問わず、一泊以上の宿泊をした延宿泊人数。

2-3. 圏域の定義

地域間比較をする際に用いた、各圏域の区分およびグルーピングされる都道府県は、下表のとおり。

図表 1 圏域の定義

区分	都道府県	数
北海道	北海道	1道
東北圏	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県	7県
北関東・甲信	茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県	5県
首都圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県	1都3県
北陸	富山県、石川県、福井県	3県
中部	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	4県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	2府4県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	5県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県	4県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県	7県
沖縄	沖縄県	1県

3. トренд分析

3-1. 東北圏の傾向

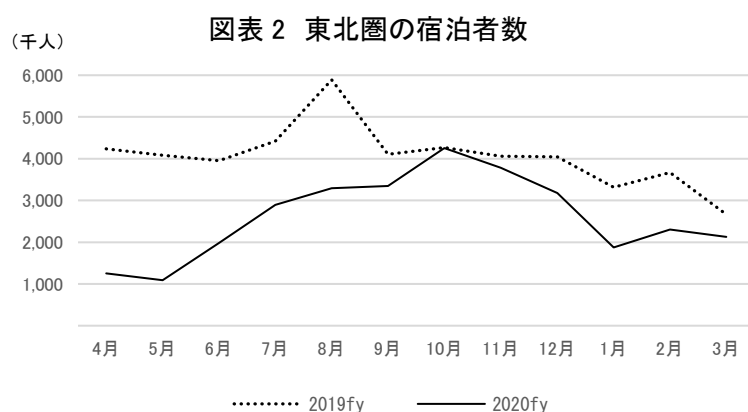
3-1-1. 宿泊者数の推移（全体）

はじめに、2019年度・2020年度の直近2か年度の東北圏を目的地とする宿泊数を見てみる。2019年度は、夏祭りシーズンである8月に需要ピークがあり、冬季間に若干の需要の落ち込みが見られるものの、その他シーズンを通じて4,000千人/月程度の一定の需要があった。一方、卒業旅行シーズンにあたる3月は、例年であれば需要が高まるが、当年度は日本国内でもコロナ感染症が拡大し始めたことを受けた旅行を控える動きなどから、需要が落ち込んだ。その結果、年度計では48,714千人となった。

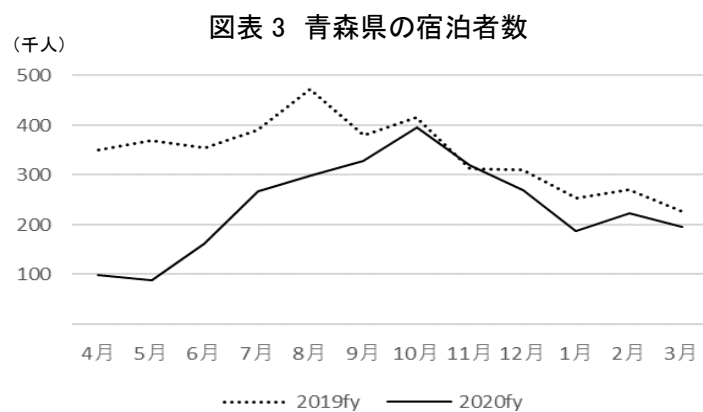
これに対し、2020年度は1年を通してコロナ影響があったため、宿泊需要は全ての月で前年割となり、年度計では前年度比▲35.6%減となる31,384千人であった。

特に、第1回目の緊急事態宣言が発出された4～5月にかけて前年度比▲7割減となった。宣言解除後、県域を跨いだ人流が戻り、7月からは国の観光需要刺激策（以下、GoToトラベル事業という。）や東北圏内の自治体による宿泊補助事業が本格的に開始された影響によりさらに需要が回復した。10月からはGoToトラベル事業に東京都発着が追加された事により、需要は前年度並みに回復した。しかし、1月以降は、コロナ感染症の再拡大を踏まえた2回目の緊急事態宣言の発出により、再び需要は大幅に減少した。

こうした年度間における需要の劇的な変動は、東北圏の各県データでも同様の傾向が見られる。青森県、岩手県、秋田県、福島県、新潟県では、GoToトラベル事業や東北圏内の自治体による宿泊補助事業等の影響から、10月以降、前年同月を上回る月も存在した。

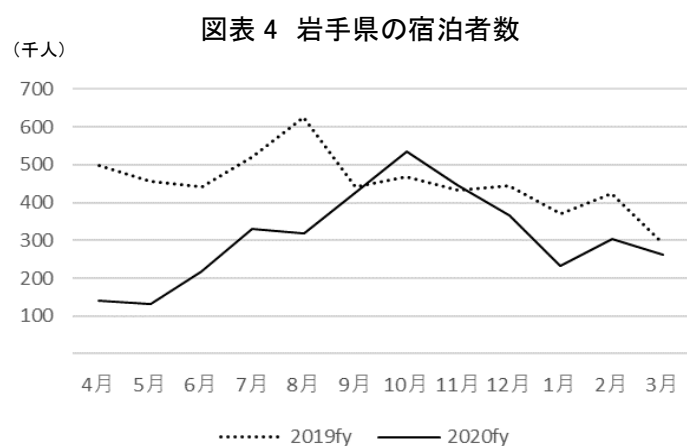


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
2019fy	4,234	4,082	3,953	4,421	5,890	4,105	4,269	4,062	4,046	3,320	3,666	2,666	48,714
2020fy	1,254	1,090	1,983	2,895	3,294	3,345	4,255	3,781	3,177	1,876	2,306	2,129	31,384
増減率 (%)	▲70.4	▲73.3	▲49.8	▲34.5	▲44.1	▲18.5	▲0.3	▲6.9	▲21.5	▲43.5	▲37.1	▲20.2	▲35.6



単位:千人

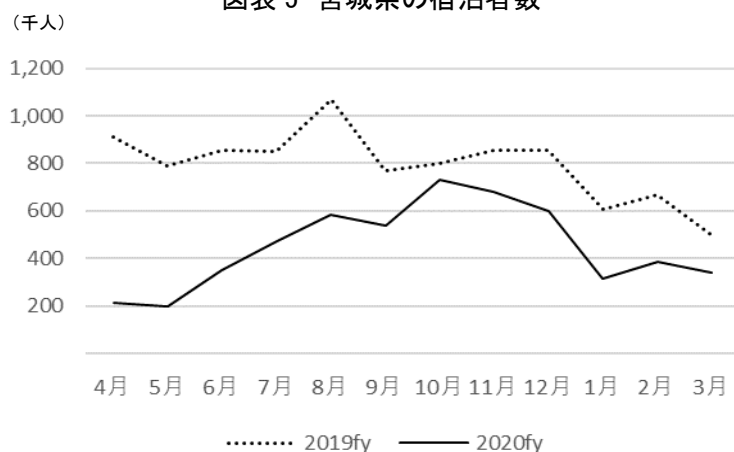
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
2019fy	351	370	355	391	473	381	415	313	311	253	270	227	4,109
2020fy	98	89	162	268	300	327	395	320	270	187	224	196	2,836
増減率 (%)	▲72.1	▲76.0	▲54.2	▲31.4	▲36.5	▲14.0	▲5.0	2.4	▲13.2	▲26.2	▲17.2	▲13.4	▲31.0



単位:千人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
2019fy	498	458	443	522	627	442	467	433	444	370	423	293	5,421
2020fy	139	132	218	332	318	425	534	446	366	234	303	262	3,708
増減率 (%)	▲72.0	▲71.2	▲50.8	▲36.5	▲49.4	▲3.8	14.3	2.9	▲17.5	▲37.0	▲28.3	▲10.5	▲31.6

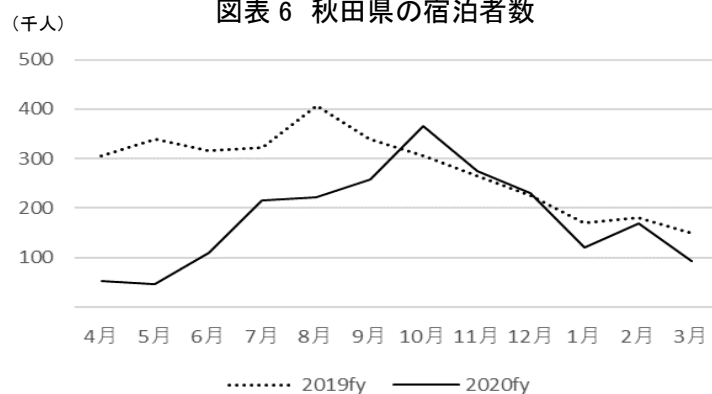
図表 5 宮城県の宿泊者数



単位:千人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
2019fy	910	789	856	849	1,069	770	802	857	857	605	669	501	9,534
2020fy	212	199	349	471	582	540	733	679	602	313	388	340	5,408
増減率 (%)	▲76.8	▲74.8	▲59.2	▲44.6	▲45.5	▲29.9	▲8.6	▲20.7	▲29.8	▲48.3	▲41.9	▲32.1	▲43.3

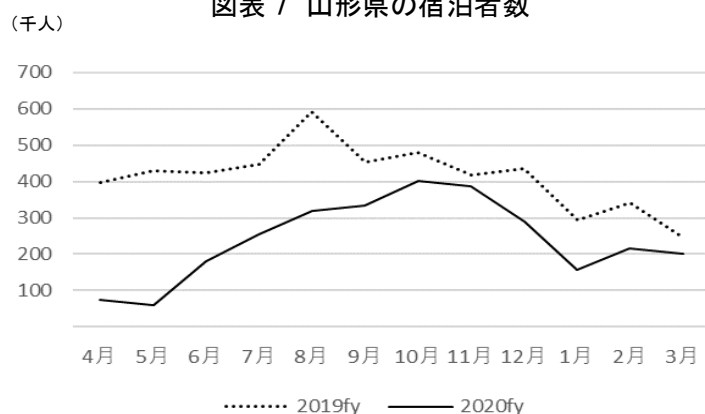
図表 6 秋田県の宿泊者数



単位:千人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
2019fy	306	340	316	323	408	339	307	266	225	171	180	148	3,329
2020fy	54	47	110	216	222	259	365	274	232	120	170	92	2,162
増減率 (%)	▲82.4	▲86.0	▲65.2	▲33.2	▲45.5	▲23.5	19.1	3.3	2.8	▲30.1	▲5.5	▲37.8	▲35.1

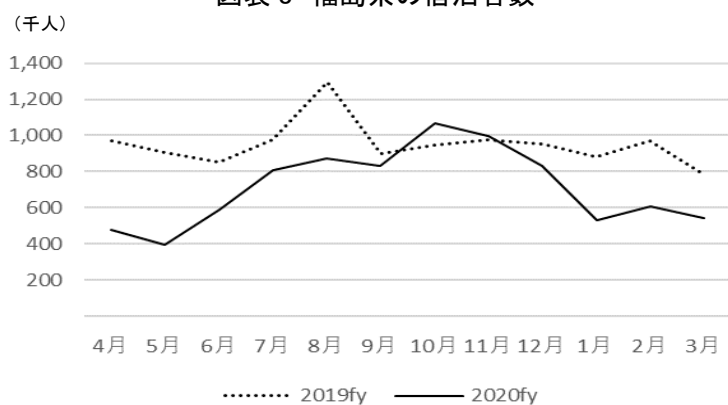
図表 7 山形県の宿泊者数



単位: 千人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
2019fy	397	430	423	448	591	453	480	419	435	295	340	247	4,958
2020fy	75	60	180	255	318	333	402	386	291	159	216	200	2,877
増減率 (%)	▲81.0	▲85.9	▲57.3	▲43.0	▲46.1	▲26.5	▲16.4	▲7.7	▲33.1	▲46.3	▲36.4	▲18.9	▲42.0

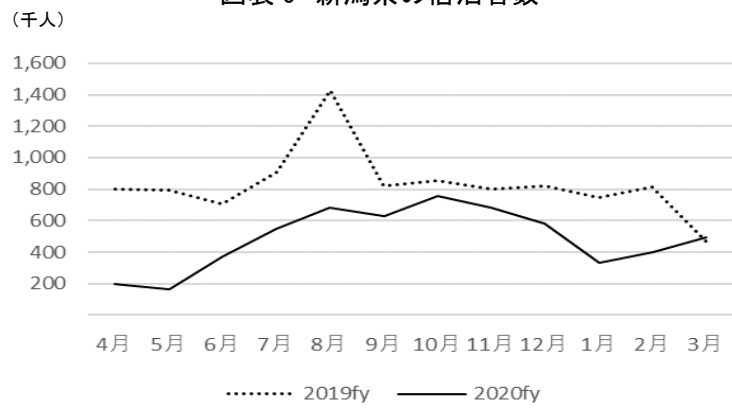
図表 8 福島県の宿泊者数



単位: 千人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
2019fy	968	903	852	979	1,293	900	946	974	954	879	972	784	11,405
2020fy	477	397	591	808	873	834	1,068	995	832	531	606	546	8,558
増減率 (%)	▲50.7	▲56.1	▲30.7	▲17.4	▲32.5	▲7.3	12.9	2.1	▲12.8	▲39.6	▲37.6	▲30.4	▲25.0

図表 9 新潟県の宿泊者数



単位:千人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
2019fy	802	792	708	909	1,429	820	852	800	820	746	812	467	9,958
2020fy	199	166	372	546	681	626	758	680	584	333	398	492	5,835
増減率 (%)	▲75.3	▲79.1	▲47.4	▲40.0	▲52.4	▲23.7	▲11.0	▲15.0	▲28.7	▲55.4	▲51.1	5.5	▲41.4

3-1-2. 宿泊者数の推移（宿泊者属性による比較）

① 居住地別（出発地）

東北圏を目的地とする宿泊者数を居住地別に見ると、東北圏在住者では2019年度11,901千人から2020年度12,390千人と前年度比+4.1%増となり、全体に占めるシェアが+15.0%ポイント増（24.4%→39.5%）と需要を下支えした。

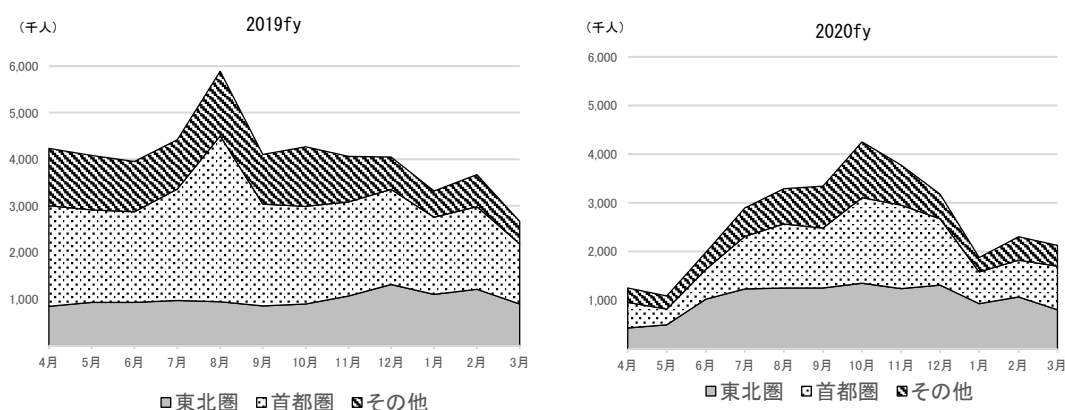
四半期単位で推移を見ると、最初の緊急事態宣言が発出された第1四半期では、前年度比▲27.5%に宿泊者数が減少したが、国の観光需要刺激策（GoToトラベル事業）や東北圏内の自治体による地域を限定した宿泊補助事業が本格的に開始された第2四半期では、前年度比+35.5%増と回復が見られた。第3四半期に入っても前年度比+19.7%増と前年度を上回る宿泊者数を維持したが、第4四半期に入って再び緊急事態宣言が発出（1/8～3/21）され、長期間にわたる外出自粛要請やGoToトラベル事業が全国的に一時停止となった影響などから、前年度比▲12.3%減となった。

次に、最大の需要先である首都圏在住者による宿泊者数を見ると、2019年度27,110千人から2020年度14,189千人と前年度比▲47.7%減となり、全体に占めるシェアが▲10.4%ポイント減（55.7%→45.2%）となった。

四半期単位で推移を見ると、最初の緊急事態宣言が発出された第1四半期では、前年度比▲76.1%減と大幅に宿泊者数が減少し、GoToトラベル事業が開始となった第2四半期に入っても、事業の対象に当初は東京都が除外となっていた影響などから大きな改善はなく前年度比▲55.4%減であった。第3四半期には、GoToトラベル事業の対象に東京都が追加された影響などから前年度比▲21.6%減まで減少幅が縮小したが、再び緊急事態宣言が発出された第4四半期には前年度比▲51.3%減に悪化した。

以上のとおり2020年度を通じて見ると、最大の需要先である首都圏からの宿泊数が前年度比▲47.7%減、シェア▲10.4%ポイント減（55.7%→45.2%）と大幅な減少となったものの、東北圏からの宿泊者数が前年度比+4.1%増、シェア+15%ポイント増（24.4%→39.5%）と需要を下支えした。

図表 10-1 東北圏の宿泊者数の推移（月次・居住地別）



図表 10-2 東北圏の宿泊者数とシェア（四半期・居住地別）

単位:千人

2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	12,269	—	14,416	—	12,377	—	9,652	—	48,714	—
東北圏	2,689	21.9	2,757	19.1	3,257	26.3	3,198	33.1	11,901	24.4
首都圏	6,097	49.7	8,141	56.5	6,167	49.8	4,722	48.9	27,110	55.7
その他	3,483	28.4	3,518	24.4	2,953	23.9	1,733	18.0	9,703	19.9

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	4,327	—	9,535	—	11,213	—	6,310	—	31,384	—
東北圏	1,950	45.1	3,735	39.2	3,900	34.8	2,806	44.5	12,390	39.5
首都圏	1,460	33.7	3,630	38.1	4,835	43.1	2,298	36.4	14,189	45.2
その他	917	21.2	2,170	22.8	2,477	22.1	1,206	19.1	4,804	15.3

図表 10-3 東北圏 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲64.7	▲33.9	▲9.4	▲34.6	▲35.6	—	—	—	—	—
東北圏	▲27.5	35.5	19.7	▲12.3	4.1	23.1	20.0	8.5	11.3	15.0
首都圏	▲76.1	▲55.4	▲21.6	▲51.3	▲47.7	▲15.9	▲18.4	▲6.7	▲12.5	▲10.4
その他	▲73.7	▲38.3	▲16.1	▲30.4	▲50.5	▲7.2	▲1.6	▲1.8	1.2	▲4.6

図表 11 緊急事態宣言対象地域の変遷

年月日	緊急事態宣言対象
2020 年	4/7 東京、埼玉、千葉、神奈川、大阪、兵庫、福岡
	4/16 全国に拡大
	5/14 北海道、東京、埼玉、千葉、神奈川、大阪、京都、兵庫(39 府県解除)
	5/21 北海道、東京、埼玉、千葉、神奈川(3 府県解除)
	5/25 対象なし(5 都道県解除)
2021 年	1/8 東京、千葉、神奈川、埼玉
	1/13 東京、千葉、神奈川、埼玉、栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県
	2/7 東京、千葉、神奈川、埼玉、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県(栃木県解除)
	3/1 東京、千葉、神奈川、埼玉(6 府県解除)
	3/21 対象なし(1 都 3 県解除)

図表 12 国および自治体の観光需要喚起策

実施主体	主な事業(対象期間)【対象】
国	Go To トラベルキャンペーン (2020.7/22～) 【全国、東京都は 2020.10/1～】
東北圏	
青森県	あおもり宿泊キャンペーン (2021.1/1～2021.3/14) 【青森県在住者】 ※～1/31 は「新春！あおもり宿泊キャンペーン」
岩手県	岩手に泊まるなら地元割クーポン (2020.7/11～2020.9/10) 【岩手県在住者】 おでんせ岩手券 (2020.10/17～2021.3/7) 【岩手県を除く、青森県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・新潟県在住者】
宮城県	せんだい・みやぎ 絆の宿キャンペーン (2020.7/7～2020.8/31) 【宮城県在住者】 せんだい・みやぎ 絆の宿キャンペーン (第2弾) (2020.11/10～2021.1/30) 【東北6県及び新潟県在住者】 仙台・宮城 すずめのお宿キャンペーン (2020.9/1～2021.1/31) 【東北6県及び新潟県在住者】
秋田県	秋田県プレミアム宿泊券 (2020.2/24～2020.8/31) 【秋田県在住者】
山形県	県民県内お出かけキャンペーン (2020.5/15～2021.12/31) 【山形県在住者】 県民泊まって応援キャンペーン (2020.5/15～2020.5/31) 【山形県在住者】 県民泊まって応援キャンペーン (第2弾) (2020.6/15～2021.1/31) 【山形県在住者】 県民泊まって元気キャンペーン (2020.7/10～2021.12/31) 【東北6県及び新潟県在住者】 (うち 2020.9/15～2020.10/31) 【山形県・福島県・新潟県在住者】★ (2021.1/26～) 【山形県在住者】 新・県民泊まって応援キャンペーン (2021.1/26～2021.12/31) 【山形県在住者】
福島県	福島県民限定宿泊割引 (2020.6/1～2020.9/14) 【福島県在住者】 (2020.9/15～2020.10/14) 【福島県・山形県・新潟県在住者】★ (2020.10/15～2020.12/15) 【福島県・山形県・新潟県・青森県・秋田県・岩手県・宮城県在住者】 (2020.12/16～2021.1/11) 【福島県在住者】 (2021.1/12～2021.2/14 まで一時休止) (2021.2/15～2021.3/26) 【福島県在住者】
新潟県	県民宿泊キャンペーン (2020.6/1～2020.10/31) 【新潟県在住者】 (うち 2020.9/15～2020.10/31) 【新潟県・山形県・福島県在住者】★ 泊まっ得！県民割キャンペーン (2021.3/8～2021.6/30) 【新潟県在住者】

★ 山形県・福島県・新潟県で、各県民宿泊割引の「共通利用キャンペーン」を実施

(各県居住地別の推移)

【自県居住者の推移】

2020 年度の自県居住者による宿泊数は、全ての県で前年度より増加し、宿泊者全体に占めるシェアも全ての県で前年度より拡大した。

宿泊者数増減率 (2019 年度宿泊者数→2020 年度宿泊者数)

青森県+79.0% (288 千人→516 千人) 岩手県+52.7% (580 千人→886 千人)
宮城県+12.6% (1,351 千人→1,521 千人) 秋田県+191.0% (205 千人→597 千人)
山形県+67.1% (386 千人→645 千人) 福島県+83.8% (1,222 千人→2,246 千人)
新潟県+22.2% (1,275 千人→1,559 千人)

宿泊者数シェア差 (2019 年度シェア→2020 年度シェア)

青森県+11.2%ポイント (7.0%→18.2%) 岩手県+13.2%ポイント (10.7%→23.9%)
宮城県+14.0%ポイント (14.2%→28.1%) 秋田県+21.4%ポイント (6.2%→27.6%)
山形県+14.6%ポイント (7.8%→22.4%) 福島県+15.5%ポイント (10.7%→26.2%)
新潟県+13.9%ポイント (12.8%→26.7%)

【東北圏内 (自県以外) 居住者の推移】

2020 年度の自県以外の東北圏在住者による宿泊者数は、全ての県で前年度より減少したが、宿泊者全体に占めるシェアは、青森県、岩手県、秋田県、山形県で前年度より拡大した。

宿泊者数増減率 (2019 年度宿泊者数→2020 年度宿泊者数)

青森県▲7.8% (461 千人→425 千人) 岩手県▲11.9% (1,027 千人→904 千人)
宮城県▲56.1% (1,640 千人→720 千人) 秋田県▲25.4% (549 千人→409 千人)
山形県▲30.3% (954 千人→665 千人) 福島県▲30.7% (1,555 千人→1,078 千人)
新潟県▲45.9% (408 千人→221 千人)

宿泊者数シェア差 (2019 年度シェア→2020 年度シェア)

青森県+3.8%ポイント (11.2%→15.0%) 岩手県+5.4%ポイント (18.9%→24.4%)
宮城県▲3.9%ポイント (17.2%→13.3%) 秋田県+2.4%ポイント (16.5%→18.9%)
山形県+3.9%ポイント (19.2%→23.1%) 福島県▲1.0%ポイント (13.6%→12.6%)
新潟県▲0.3%ポイント (4.1%→3.8%)

【首都圏居住者の推移】

2020 年度の首都圏在住者による宿泊者数は、全ての県で前年度より減少し、宿泊者全体に占めるシェアも全ての県で前年度より縮小した。

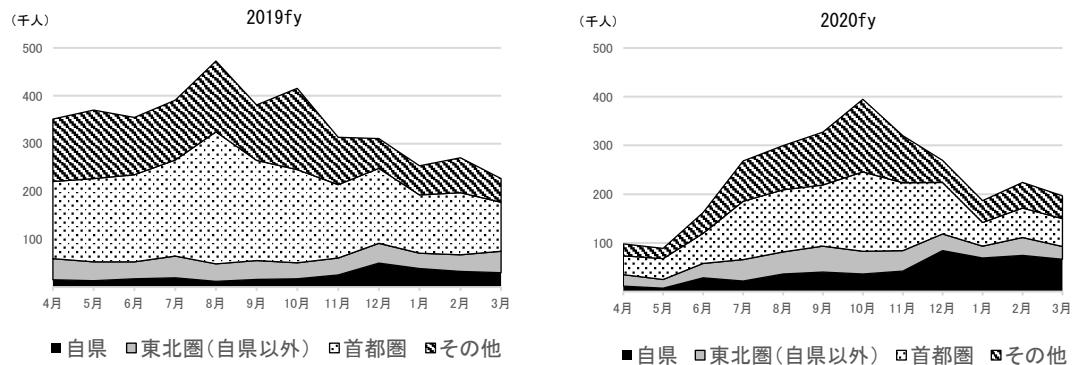
宿泊者数増減率（2019 年度宿泊者数→2020 年度宿泊者数）

青森県▲47.1%（2,062 千人→1,090 千人） 岩手県▲52.4%（2,488 千人→1,185 千人）
宮城県▲53.4%（4,200 千人→1,958 千人） 秋田県▲57.7%（1,570 千人→664 千人）
山形県▲59.3%（2,411 千人→982 千人） 福島県▲42.9%（6,272 千人→3,581 千人）
新潟県▲54.9%（6,123 千人→2,763 千人）

宿泊者数シェア差（2019 年度シェア→2020 年度シェア）

青森県▲3.2%ポイント（31.6%→28.4%） 岩手県▲13.9%ポイント（45.9%→32.0%）
宮城県▲7.8%ポイント（44.0%→36.2%） 秋田県▲16.4%ポイント（47.2%→30.7%）
山形県▲14.5%ポイント（48.6%→34.1%） 福島県▲13.1%ポイント（55.0%→41.8%）
新潟県▲14.1%ポイント（61.5%→47.4%）

図表 13-1 青森県の宿泊者数の推移（月次・居住地別）



図表 13-2 青森県の宿泊者数とシェア（四半期・居住地別）

単位:千人

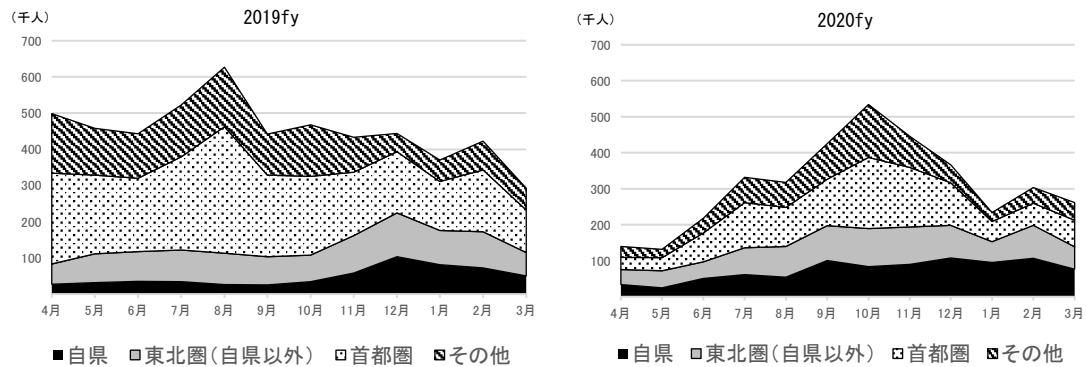
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,076	—	1,244	—	1,039	—	751	—	4,109	—
自県	46	4.3	48	3.8	93	8.9	102	13.6	288	7.0
東北圏	120	11.1	120	9.7	109	10.5	111	14.8	461	11.2
首都圏	517	48.0	687	55.2	505	48.6	354	47.2	2,062	50.2
その他	394	36.6	389	31.3	332	31.9	183	24.4	1,298	31.6

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	349	—	895	—	985	—	607	—	2,836	—
自県	46	13.3	97	10.9	162	16.5	210	34.6	516	18.2
東北圏	71	20.5	143	16.0	123	12.5	87	14.3	425	15.0
首都圏	144	41.1	373	41.6	408	41.4	166	27.4	1,090	38.4
その他	88	25.2	282	31.5	292	29.6	144	23.8	806	28.4

図表 13-3 青森県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲67.5	▲28.0	▲5.2	▲19.1	▲31.0	—	—	—	—	—
自県	1.2	104.3	74.5	106.2	79.0	9.0	7.0	7.5	21.0	11.2
東北圏	▲40.2	18.9	12.5	▲21.9	▲7.8	9.4	6.3	2.0	▲0.5	3.8
首都圏	▲72.2	▲45.7	▲19.2	▲53.1	▲47.1	▲6.9	▲13.6	▲7.2	▲19.8	▲11.8
その他	▲77.7	▲27.6	▲12.1	▲21.3	▲37.9	▲11.4	0.2	▲2.3	▲0.7	▲3.2

図表 14-1 岩手県の宿泊者数の推移（月次・居住地別）



図表 14-2 岩手県の宿泊者数とシェア（四半期・居住地別）

単位：千人

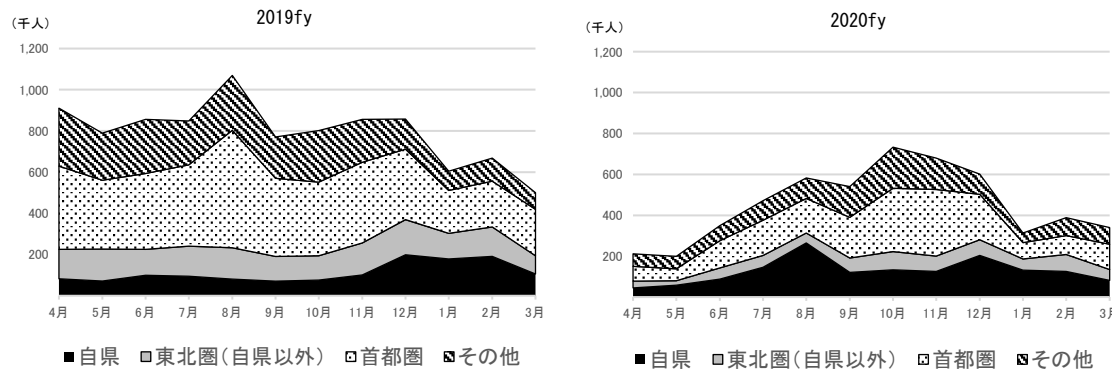
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,400	—	1,591	—	1,345	—	1,086	—	5,421	—
自県	94	6.7	86	5.4	196	14.6	203	18.7	580	10.7
東北圏	218	15.6	251	15.8	297	22.1	260	23.9	1,027	18.9
首都圏	670	47.9	833	52.3	562	41.8	423	39.0	2,488	45.9
その他	417	29.8	420	26.4	290	21.5	200	18.4	1,326	24.5

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	489	—	1,074	—	1,346	—	798	—	3,708	—
自県	109	22.3	217	20.2	281	20.9	279	34.9	886	23.9
東北圏	136	27.7	255	23.8	301	22.4	212	26.6	904	24.4
首都圏	150	30.7	364	33.8	482	35.8	190	23.8	1,185	32.0
その他	95	19.3	238	22.2	282	21.0	118	14.7	733	19.8

図表 14-3 岩手県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲65.0	▲32.5	0.1	▲26.5	▲31.6	—	—	—	—	—
自県	15.6	151.4	43.5	36.9	52.7	15.6	14.8	6.3	16.1	13.2
東北圏	▲37.9	1.6	1.3	▲18.3	▲11.9	12.1	8.0	0.3	2.7	5.4
首都圏	▲77.6	▲56.4	▲14.3	▲55.1	▲52.4	▲17.2	▲18.5	▲6.0	▲15.2	▲13.9
その他	▲77.3	▲43.3	▲2.5	▲41.1	▲44.8	▲10.5	▲4.2	▲0.6	▲3.6	▲4.7

図表 15-1 宮城県の宿泊者数の推移（月次・居住地別）



図表 15-2 宮城県の宿泊者数とシェア（四半期・居住地別）

単位: 千人

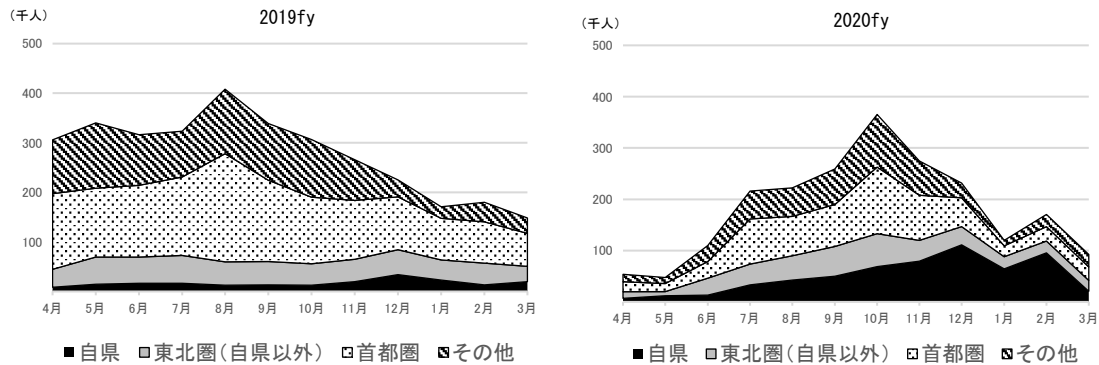
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	2,556	—	2,689	—	2,515	—	1,774	—	9,534	—
自県	253	9.9	246	9.1	376	14.9	476	26.9	1,351	14.2
東北圏	423	16.6	419	15.6	442	17.6	355	20.0	1,640	17.2
首都圏	1,108	43.3	1,343	50.0	1,094	43.5	655	36.9	4,200	44.0
その他	772	30.2	681	25.3	603	24.0	287	16.2	2,343	24.6

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	759	—	1,593	—	2,014	—	1,041	—	5,408	—
自県	190	25.0	531	33.3	462	22.9	338	32.5	1,521	28.1
東北圏	110	14.5	177	11.1	242	12.0	192	18.4	720	13.3
首都圏	264	34.8	540	33.9	857	42.5	297	28.6	1,958	36.2
その他	195	25.7	345	21.7	454	22.5	214	20.6	1,208	22.3

図表 15-3 宮城県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲70.3	▲40.8	▲19.9	▲41.3	▲43.3	—	—	—	—	—
自県	▲24.9	116.2	23.0	▲29.1	12.6	15.1	24.2	8.0	5.6	14.0
東北圏	▲74.0	▲57.9	▲45.4	▲46.1	▲56.1	▲2.0	▲4.5	▲5.6	▲1.6	▲3.9
首都圏	▲76.2	▲59.8	▲21.7	▲54.6	▲53.4	▲8.6	▲16.0	▲1.0	▲8.3	▲7.8
その他	▲74.7	▲49.3	▲24.8	▲25.4	▲48.4	▲4.5	▲3.7	▲1.5	4.4	▲2.2

図表 16-1 秋田県の宿泊者数の推移（月次・居住地別）



図表 16-2 秋田県の宿泊者数とシェア（四半期・居住地別）

単位:千人

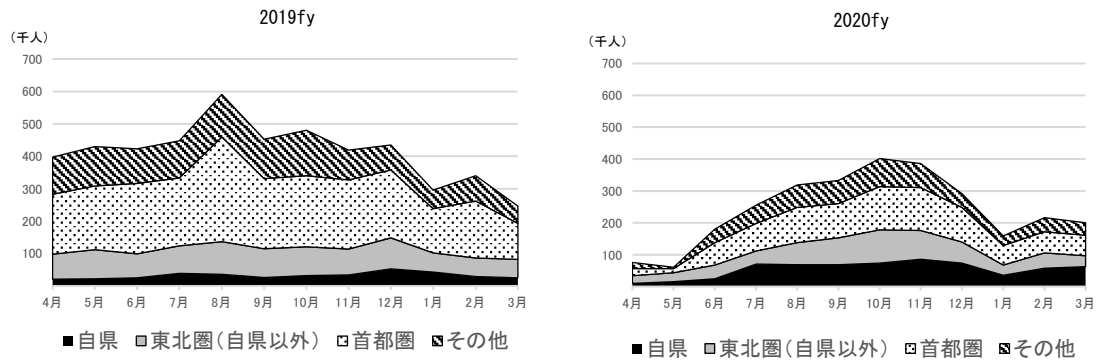
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	962	—	1,070	—	797	—	499	—	3,329	—
自県	40	4.1	43	4.0	66	8.3	56	11.2	205	6.2
東北圏	144	14.9	150	14.0	139	17.4	116	23.2	549	16.5
首都圏	436	45.4	541	50.5	360	45.1	233	46.7	1,570	47.2
その他	342	35.6	337	31.5	233	29.2	94	18.8	1,005	30.2

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	211	—	697	—	871	—	382	—	2,162	—
自県	32	15.0	125	17.9	260	29.8	181	47.3	597	27.6
東北圏	54	25.7	147	21.1	140	16.1	67	17.6	409	18.9
首都圏	68	32.3	246	35.3	273	31.4	76	20.0	664	30.7
その他	57	27.0	179	25.7	198	22.7	58	15.1	492	22.7

図表 16-3 秋田県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲78.0	▲34.8	9.2	▲23.5	▲35.1	—	—	—	—	—
自県	▲20.7	192.1	290.9	222.0	191.0	10.8	13.9	21.5	36.0	21.4
東北圏	▲62.2	▲2.2	1.2	▲42.0	▲25.4	10.8	7.0	▲1.3	▲5.6	2.4
首都圏	▲84.3	▲54.4	▲24.0	▲67.3	▲57.7	▲13.0	▲15.2	▲13.7	▲26.8	▲16.4
その他	▲83.3	▲46.8	▲15.0	▲38.4	▲51.1	▲8.6	▲5.8	▲6.5	▲3.7	▲7.5

図表 17-1 山形県の宿泊者数の推移（月次・居住地別）



図表 17-2 山形県の宿泊者数とシェア（四半期・居住地別）

単位:千人

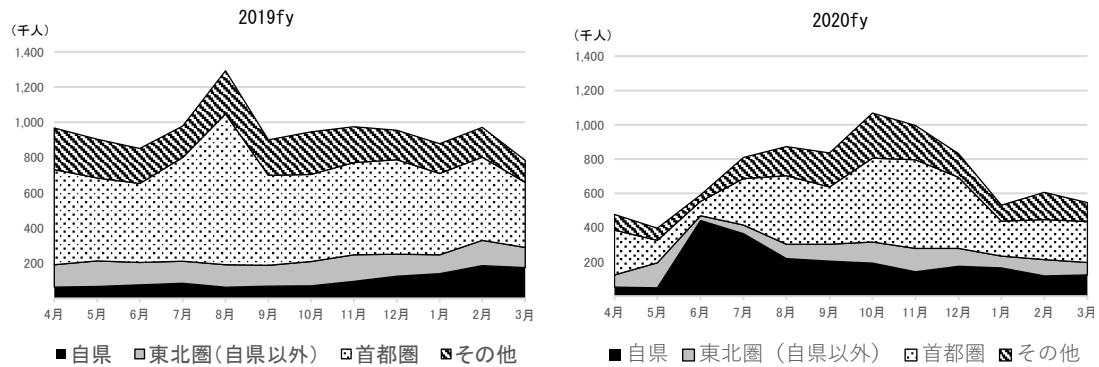
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,249	—	1,492	—	1,334	—	882	—	4,958	—
自県	68	5.4	101	6.8	119	8.9	98	11.1	386	7.8
東北圏	242	19.4	275	18.4	264	19.8	174	19.7	954	19.2
首都圏	598	47.9	748	50.1	642	48.1	423	47.9	2,411	48.6
その他	341	27.3	368	24.6	309	23.2	188	21.3	1,206	24.3

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	316	—	907	—	1,079	—	575	—	2,877	—
自県	50	15.9	208	22.9	232	21.5	155	26.9	645	22.4
東北圏	95	30.0	194	21.4	261	24.2	115	20.0	665	23.1
首都圏	105	33.3	305	33.6	379	35.2	192	33.5	982	34.1
その他	66	20.9	200	22.1	206	19.1	113	19.6	585	20.3

図表 17-3 山形県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲74.7	▲39.2	▲19.1	▲34.8	▲42.0	—	—	—	—	—
自県	▲26.2	105.0	95.2	58.5	67.1	10.4	16.1	12.6	15.9	14.6
東北圏	▲60.8	▲29.3	▲1.1	▲33.7	▲30.3	10.6	3.0	4.4	0.3	3.9
首都圏	▲82.4	▲59.3	▲40.9	▲54.5	▲59.3	▲14.6	▲16.5	▲13.0	▲14.4	▲14.5
その他	▲80.7	▲45.6	▲33.2	▲40.1	▲51.5	▲6.4	▲2.6	▲4.0	▲1.7	▲4.0

図表 18-1 福島県の宿泊者数の推移（月次・居住地別）



図表 18-2 福島県の宿泊者数とシェア（四半期・居住地別）

単位:千人

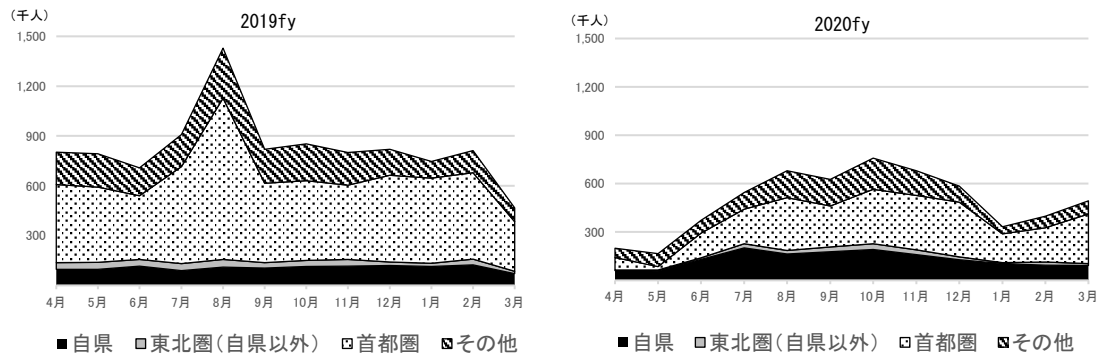
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	2,724	—	3,172	—	2,875	—	2,635	—	11,405	—
自県	208	7.6	219	6.9	294	10.2	500	19.0	1,222	10.7
東北圏	400	14.7	373	11.8	414	14.4	369	14.0	1,555	13.6
首都圏	1,461	53.7	1,956	61.7	1,554	54.1	1,300	49.4	6,272	55.0
その他	655	24.0	624	19.7	612	21.3	465	17.7	2,356	20.7

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,465	—	2,515	—	2,895	—	1,683	—	8,558	—
自県	543	37.0	787	31.3	510	17.6	406	24.1	2,246	26.2
東北圏	244	16.7	233	9.3	364	12.6	237	14.1	1,078	12.6
首都圏	478	32.6	1,006	40.0	1,421	49.1	676	40.2	3,581	41.8
その他	200	13.7	489	19.4	601	20.8	364	21.6	1,654	19.3

図表 18-3 福島県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲46.2	▲20.7	0.7	▲36.1	▲25.0	—	—	—	—	—
自県	160.8	258.9	73.2	▲18.8	83.8	29.4	24.4	7.4	5.1	15.5
東北圏	▲38.9	▲37.5	▲12.2	▲35.9	▲30.7	2.0	▲2.5	▲1.8	0.1	▲1.0
首都圏	▲67.3	▲48.5	▲8.6	▲48.0	▲42.9	▲21.0	▲21.7	▲5.0	▲9.2	▲13.1
その他	▲69.4	▲21.7	▲1.8	▲21.8	▲29.8	▲10.4	▲0.2	▲0.5	4.0	▲1.3

図表 19-1 新潟県の宿泊者数の推移（月次・居住地別）



図表 19-2 新潟県の宿泊者数とシェア（四半期・居住地別）

単位:千人

2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	2,303	—	3,158	—	2,472	—	2,025	—	9,958	—
自県	310	13.4	306	9.7	352	14.2	308	15.2	1,275	12.8
東北圏	124	5.4	119	3.8	96	3.9	68	3.4	408	4.1
首都圏	1,306	56.7	2,034	64.4	1,450	58.7	1,333	65.8	6,123	61.5
その他	563	24.4	699	22.1	575	23.2	315	15.6	2,152	21.6

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	737	—	1,852	—	2,023	—	1,223	—	5,835	—
自県	248	33.6	542	29.3	480	23.7	289	23.7	1,559	26.7
東北圏	22	2.9	78	4.2	83	4.1	38	3.1	221	3.8
首都圏	251	34.1	796	43.0	1,016	50.2	700	57.2	2,763	47.4
その他	216	29.3	437	23.6	444	22.0	196	16.0	1,293	22.2

図表 19-3 新潟県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲68.0	▲41.3	▲18.2	▲39.6	▲41.4	—	—	—	—	—
自県	▲20.0	77.4	36.5	▲6.2	22.2	20.2	19.6	9.5	8.4	13.9
東北圏	▲82.6	▲34.9	▲13.3	▲43.8	▲45.9	▲2.5	0.4	0.2	▲0.2	▲0.3
首都圏	▲80.8	▲60.9	▲29.9	▲47.5	▲54.9	▲22.6	▲21.4	▲8.4	▲8.6	▲14.1
その他	▲61.6	▲37.5	▲22.7	▲37.9	▲39.9	4.9	1.4	▲1.3	0.4	0.5

② 年代別

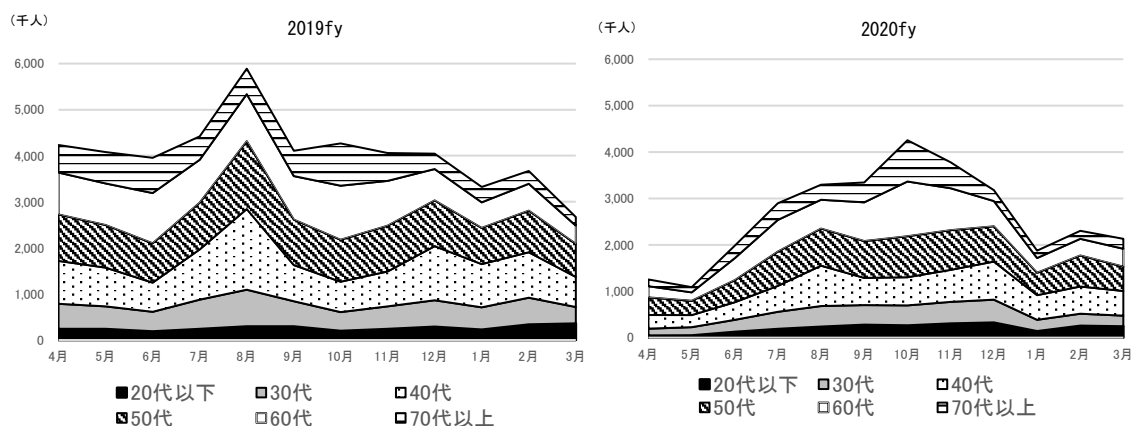
2020 年度の東北圏の宿泊者数を年代別に見ると、全ての年代層で前年度から減少したものの、比較的減少幅の小さかった 20 代、50 代、60 代では全体に占めるシェアが拡大した。

四半期単位で推移を見ると、最初の緊急事態宣言が発出された第 1 四半期では全ての年代層で大幅に減少し、特に 60 代、70 代以上では前年度比▲70%前後と落ち込みが大きかった。GoTo トラベル事業が始まった第 2 四半期には 20 代、50 代、60 代を中心に減少幅が縮小し、続く第 3 四半期で GoTo トラベル事業に東京が追加されたことなどから、20 代が前年度比+21.4%と大幅にプラスに転じた他、その他全ての年代でもマイナス幅が縮小した。しかしながら、再び緊急事態宣言が発出された第 4 四半期には全ての年代で悪化した。

以上のとおり 2020 年度を通じて見ると、全年代で旅行を手控える傾向がある中、20 代の若者や 50 代、60 代のアクティブシニア層が感染対策に留意しつつ積極的に宿泊旅行に出かけた傾向がうかがわれた。

同様の傾向は、東北圏の各県でも顕著に表れており、20 代の若者や 50 代、60 代のアクティブシニア層を中心に、各県におけるシェアが拡大した。

図表 20-1 東北圏の宿泊者数の推移（月次・年代別）



図表 20-2 東北圏の宿泊者数とシェア（四半期・年代別）

単位:千人

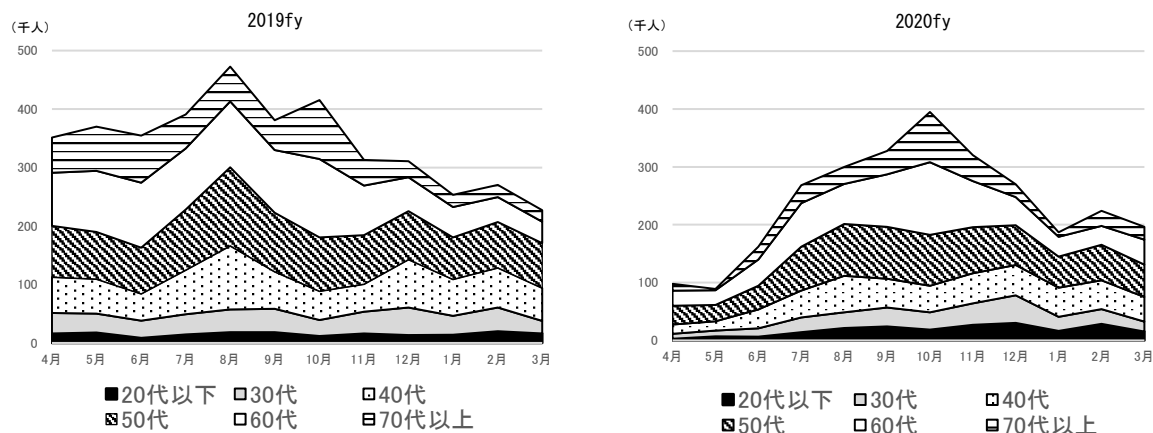
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	12,269	—	14,416	—	12,377	—	9,652	—	48,714	—
20代以下	680	5.5	848	5.9	744	6.0	932	9.7	3,204	6.6
30代	1,454	11.8	1,959	13.6	1,454	11.7	1,413	14.6	6,280	12.9
40代	2,395	19.5	3,625	25.1	2,597	21.0	2,578	26.7	11,195	23.0
50代	2,786	22.7	3,474	24.1	2,894	23.4	2,406	24.9	11,560	23.7
60代	2,917	23.8	2,902	20.1	2,821	22.8	1,537	15.9	10,177	20.9
70代以上	2,038	16.6	1,606	11.1	1,867	15.1	786	8.1	6,297	12.9

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	4,327	—	9,535	—	11,213	—	6,310	—	31,384	—
20代以下	231	5.3	710	7.4	903	8.1	654	10.4	2,499	8.0
30代	575	13.3	1,227	12.9	1,380	12.3	720	11.4	3,902	12.4
40代	932	21.5	2,017	21.2	2,121	18.9	1,644	26.1	6,714	21.4
50代	1,168	27.0	2,337	24.5	2,499	22.3	1,685	26.7	7,689	24.5
60代	887	20.5	2,138	22.4	2,626	23.4	1,059	16.8	6,710	21.4
70代以上	533	12.3	1,106	11.6	1,683	15.0	547	8.7	3,870	12.3

図表 20-3 東北圏 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲64.7	▲33.9	▲9.4	▲34.6	▲35.6	—	—	—	—	—
20代以下	▲66.0	▲16.3	21.4	▲29.8	▲22.0	▲0.2	1.6	2.0	0.7	1.4
30代	▲60.4	▲37.4	▲5.1	▲49.0	▲37.9	1.4	▲0.7	0.6	▲3.2	▲0.5
40代	▲61.1	▲44.4	▲18.3	▲36.2	▲40.0	2.0	▲4.0	▲2.1	▲0.6	▲1.6
50代	▲58.1	▲32.7	▲13.7	▲29.9	▲33.5	4.3	0.4	▲1.1	1.8	0.8
60代	▲69.6	▲26.3	▲6.9	▲31.1	▲34.1	▲3.3	2.3	0.6	0.8	0.5
70代以上	▲73.8	▲31.2	▲9.8	▲30.4	▲38.5	▲4.3	0.5	▲0.1	0.5	▲0.6

図表 21-1 青森県の宿泊者数の推移（月次・年代別）



図表 21-2 青森県の宿泊者数とシェア（四半期・年代別）

単位:千人

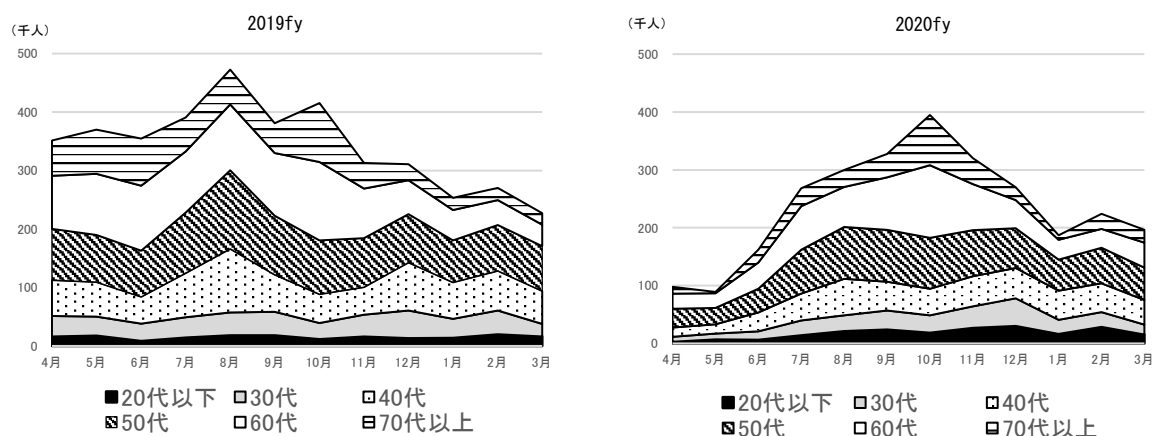
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,076	—	1,244	—	1,039	—	751	—	4,109	—
20代以下	43	4.0	51	4.1	42	4.0	50	6.7	186	4.5
30代	96	8.9	114	9.1	111	10.7	95	12.6	416	10.1
40代	167	15.5	248	19.9	179	17.2	187	24.9	781	19.0
50代	247	22.9	338	27.2	259	24.9	227	30.2	1,070	26.0
60代	307	28.5	325	26.1	277	26.7	132	17.6	1,040	25.3
70代以上	216	20.1	168	13.5	171	16.5	61	8.1	616	15.0

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	349	—	895	—	985	—	607	—	2,836	—
20代以下	17	4.8	60	6.7	76	7.7	61	10.0	213	7.5
30代	33	9.3	85	9.5	115	11.6	66	10.9	298	10.5
40代	65	18.5	160	17.8	151	15.3	143	23.6	518	18.3
50代	102	29.2	255	28.5	236	23.9	171	28.1	763	26.9
60代	97	27.8	235	26.3	254	25.8	110	18.1	696	24.5
70代以上	36	10.4	101	11.3	154	15.6	56	9.2	347	12.2

図表 21-3 青森県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲67.5	▲28.0	▲5.2	▲19.1	▲31.0	—	—	—	—	—
20代以下	▲61.5	17.4	81.6	21.7	14.6	0.7	2.6	3.7	3.4	3.0
30代	▲66.0	▲25.4	2.9	▲30.0	▲28.3	0.4	0.3	0.9	▲1.7	0.4
40代	▲61.2	▲35.6	▲15.7	▲23.2	▲33.6	3.0	▲2.1	▲1.9	▲1.3	▲0.7
50代	▲58.7	▲24.7	▲8.8	▲24.7	▲28.7	6.3	1.3	▲0.9	▲2.1	0.9
60代	▲68.4	▲27.6	▲8.4	▲16.6	▲33.1	▲0.7	0.2	▲0.9	0.5	▲0.8
70代以上	▲83.2	▲40.0	▲10.2	▲7.7	▲43.7	▲9.7	▲2.2	▲0.9	1.1	▲2.8

図表 22-1 岩手県の宿泊者数の推移（月次・年代別）



図表 22-2 岩手県の宿泊者数とシェア（四半期・年代別）

単位：千人

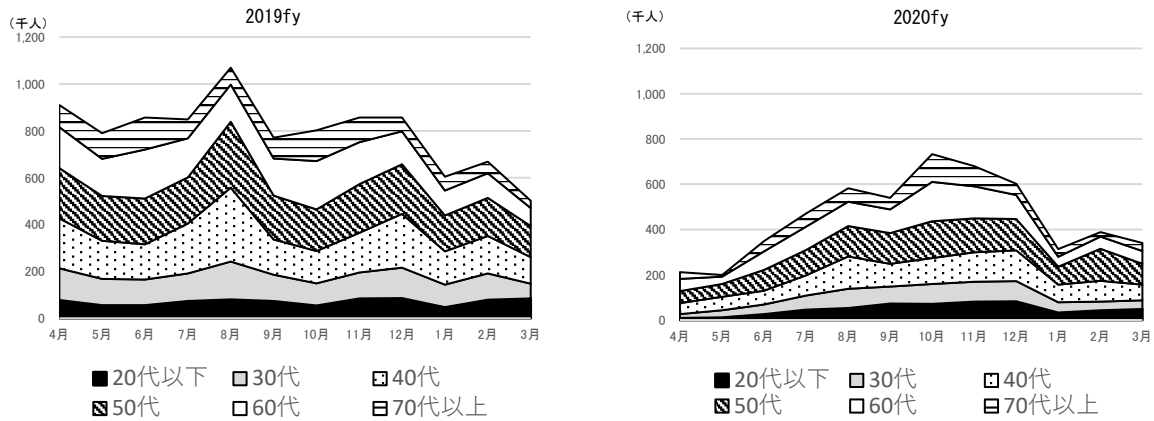
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,400	—	1,591	—	1,345	—	1,086	—	5,421	—
20代以下	70	5.0	84	5.3	75	5.6	82	7.6	311	5.7
30代	139	9.9	180	11.3	153	11.4	148	13.6	619	11.4
40代	262	18.7	370	23.3	264	19.6	260	24.0	1,157	21.3
50代	333	23.8	415	26.1	328	24.4	291	26.8	1,367	25.2
60代	340	24.3	345	21.7	309	23.0	200	18.4	1,195	22.0
70代以上	256	18.3	197	12.4	214	15.9	105	9.7	773	14.3

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	489	—	1,074	—	1,346	—	798	—	3,708	—
20代以下	26	5.3	79	7.4	108	8.0	71	8.8	284	7.7
30代	71	14.5	115	10.7	157	11.6	81	10.1	423	11.4
40代	101	20.6	206	19.2	241	17.9	206	25.8	755	20.3
50代	146	29.9	278	25.9	293	21.7	207	26.0	925	24.9
60代	99	20.2	255	23.7	338	25.1	166	20.8	858	23.1
70代以上	46	9.4	142	13.2	209	15.5	67	8.4	464	12.5

図表 22-3 岩手県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲65.0	▲32.5	0.1	▲26.5	▲31.6	—	—	—	—	—
20代以下	▲62.6	▲5.6	43.4	▲13.9	▲8.7	0.4	2.1	2.4	1.3	1.9
30代	▲48.9	▲36.3	2.1	▲45.2	▲31.7	4.6	▲0.6	0.2	▲3.5	0.0
40代	▲61.5	▲44.3	▲8.7	▲20.8	▲34.8	1.9	▲4.1	▲1.7	1.9	▲1.0
50代	▲56.0	▲33.0	▲10.8	▲28.7	▲32.3	6.1	▲0.2	▲2.7	▲0.8	▲0.3
60代	▲70.9	▲26.2	9.3	▲17.0	▲28.2	▲4.1	2.0	2.1	2.4	1.1
70代以上	▲82.0	▲28.0	▲2.4	▲36.0	▲39.9	▲8.9	0.8	▲0.4	▲1.3	▲1.7

図表 23-1 宮城県の宿泊者数の推移（月次・年代別）



図表 23-2 宮城県の宿泊者数とシェア（四半期・年代別）

単位：千人

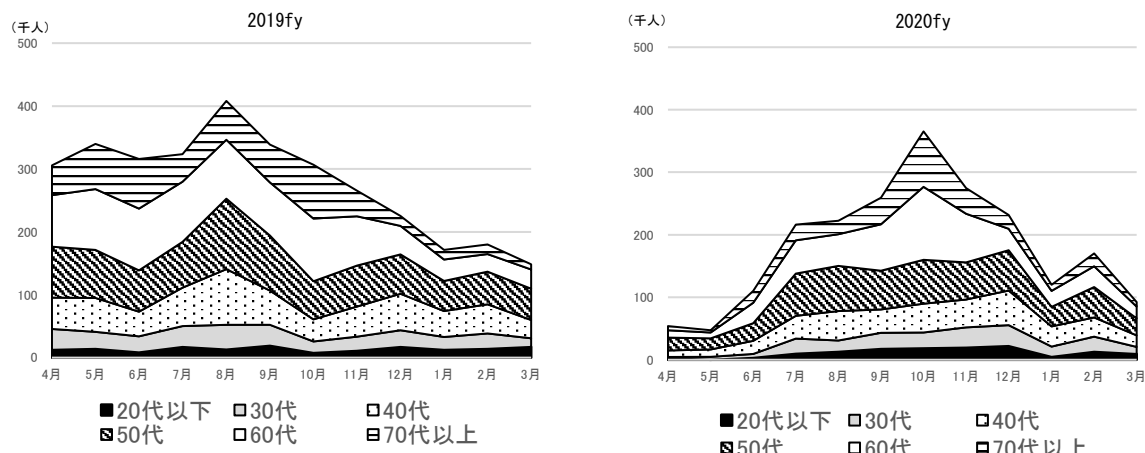
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	2,556	—	2,689	—	2,515	—	1,774	—	9,534	—
20 代以下	190	7.4	228	8.5	225	9.0	212	11.9	856	9.0
30 代	358	14.0	393	14.6	335	13.3	271	15.3	1,356	14.2
40 代	524	20.5	677	25.2	536	21.3	416	23.4	2,152	22.6
50 代	600	23.5	666	24.8	598	23.8	447	25.2	2,311	24.2
60 代	544	21.3	485	18.0	526	20.9	290	16.4	1,845	19.4
70 代以上	340	13.3	241	8.9	295	11.7	138	7.8	1,014	10.6

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	759	—	1,593	—	2,014	—	1,041	—	5,408	—
20 代以下	48	6.4	171	10.8	235	11.7	125	12.0	580	10.7
30 代	90	11.9	223	14.0	264	13.1	121	11.7	699	12.9
40 代	168	22.1	333	20.9	382	19.0	239	22.9	1,122	20.8
50 代	202	26.7	381	23.9	450	22.3	315	30.2	1,347	24.9
60 代	168	22.1	316	19.8	421	20.9	153	14.7	1,057	19.6
70 代以上	83	10.9	169	10.6	261	13.0	89	8.5	602	11.1

図表 23-3 宮城県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲70.3	▲40.8	▲19.9	▲41.3	▲43.3	—	—	—	—	—
20 代以下	▲74.5	▲24.9	4.5	▲41.2	▲32.2	▲1.1	2.3	2.7	0.0	1.7
30 代	▲74.8	▲43.2	▲21.2	▲55.1	▲48.5	▲2.1	▲0.6	▲0.2	▲3.6	▲1.3
40 代	▲67.9	▲50.7	▲28.7	▲42.6	▲47.9	1.6	▲4.2	▲2.3	▲0.5	▲1.8
50 代	▲66.3	▲42.8	▲24.8	▲29.6	▲41.7	3.2	▲0.9	▲1.4	5.0	0.7
60 代	▲69.2	▲34.8	▲20.0	▲47.3	▲42.7	0.8	1.8	0.0	▲1.7	0.2
70 代以上	▲75.7	▲29.8	▲11.4	▲35.9	▲40.7	▲2.4	1.6	1.2	0.7	0.5

図表 24-1 秋田県の宿泊者数の推移（月次・年代別）



図表 24-2 秋田県の宿泊者数とシェア（四半期・年代別）

単位：千人

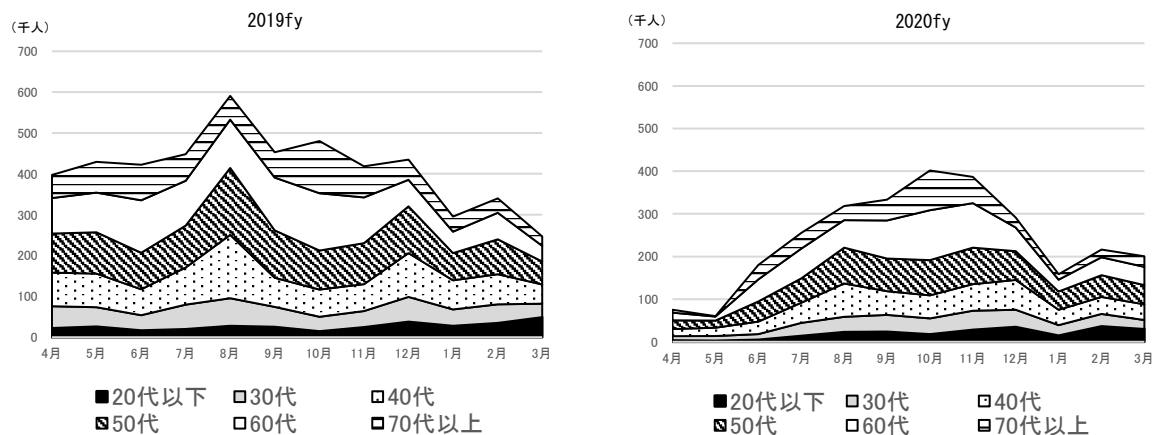
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	962	—	1,070	—	797	—	499	—	3,329	—
20代以下	35	3.6	49	4.6	36	4.5	43	8.6	163	4.9
30代	85	8.9	106	9.9	66	8.3	59	11.9	316	9.5
40代	143	14.9	204	19.0	141	17.7	116	23.2	604	18.1
50代	223	23.2	273	25.5	189	23.6	150	30.0	834	25.0
60代	277	28.8	274	25.6	223	28.0	93	18.5	867	26.0
70代以上	198	20.6	165	15.4	143	17.9	39	7.7	544	16.4

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	211	—	697	—	871	—	382	—	2,162	—
20代以下	6	2.9	40	5.7	60	6.9	27	7.0	133	6.1
30代	12	5.9	68	9.7	91	10.4	51	13.4	222	10.3
40代	43	20.5	121	17.3	146	16.8	82	21.4	392	18.1
50代	67	31.5	202	28.9	194	22.3	108	28.2	570	26.4
60代	54	25.3	179	25.6	229	26.2	77	20.2	538	24.9
70代以上	29	13.9	89	12.8	151	17.4	37	9.8	307	14.2

図表 24-3 秋田県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲78.0	▲34.8	9.2	▲23.5	▲35.1	—	—	—	—	—
20代以下	▲82.6	▲18.7	66.8	▲37.8	▲18.6	▲0.8	1.1	2.4	▲1.6	1.2
30代	▲85.5	▲35.9	36.4	▲13.6	▲29.9	▲3.0	▲0.2	2.1	1.5	0.8
40代	▲69.8	▲40.7	3.7	▲29.5	▲35.1	5.6	▲1.7	▲0.9	▲1.8	0.0
50代	▲70.1	▲26.1	3.1	▲28.0	▲31.6	8.4	3.4	▲1.3	▲1.8	1.3
60代	▲80.7	▲34.9	2.5	▲16.6	▲38.0	▲3.5	0.0	▲1.7	1.7	▲1.2
70代以上	▲85.2	▲46.1	6.3	▲3.5	▲43.6	▲6.7	▲2.7	▲0.5	2.0	▲2.1

図表 25-1 山形県の宿泊者数の推移（月次・年代別）



図表 25-2 山形県の宿泊者数とシェア（四半期・年代別）

単位: 千人

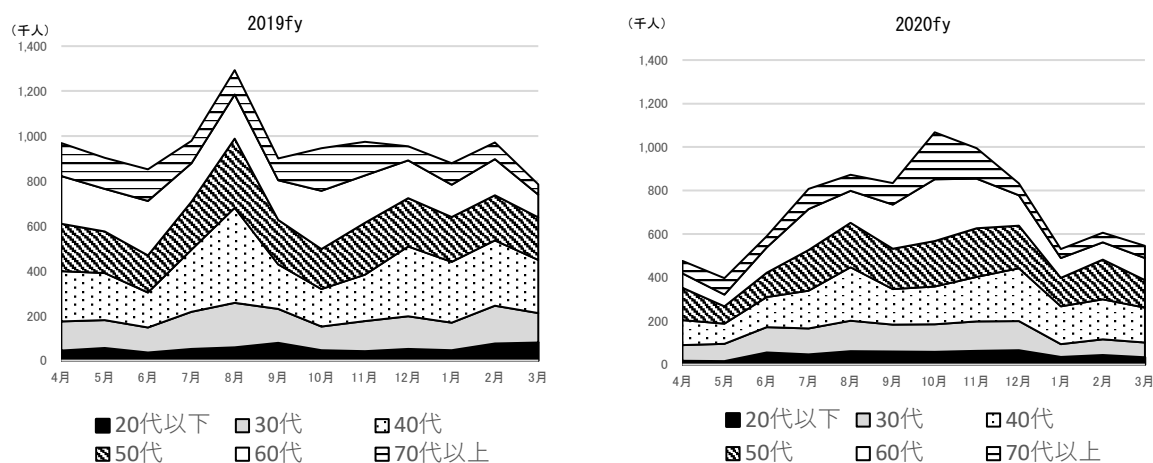
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,249	—	1,492	—	1,334	—	882	—	4,958	—
20 代以下	67	5.3	74	5.0	78	5.8	112	12.7	331	6.7
30 代	137	10.9	176	11.8	135	10.1	118	13.4	565	11.4
40 代	228	18.3	317	21.2	240	18.0	192	21.8	977	19.7
50 代	286	22.9	383	25.6	310	23.2	208	23.6	1,186	23.9
60 代	313	25.0	357	23.9	318	23.8	156	17.7	1,144	23.1
70 代以上	219	17.5	185	12.4	254	19.0	95	10.8	754	15.2

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	316	—	907	—	1,079	—	575	—	2,877	—
20 代以下	12	3.8	61	6.7	83	7.7	81	14.2	237	8.2
30 代	33	10.3	106	11.6	121	11.2	74	12.8	332	11.6
40 代	66	21.0	180	19.9	186	17.2	114	19.7	546	19.0
50 代	84	26.6	218	24.0	236	21.8	138	24.1	676	23.5
60 代	79	25.1	224	24.8	277	25.6	112	19.5	692	24.1
70 代以上	42	13.2	118	13.0	178	16.5	56	9.7	393	13.7

図表 25-3 山形県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲74.7	▲39.2	▲19.1	▲34.8	▲42.0	—	—	—	—	—
20 代以下	▲82.0	▲17.9	6.2	▲27.6	▲28.4	▲1.5	1.7	1.8	1.4	1.6
30 代	▲76.1	▲39.9	▲10.7	▲37.6	▲41.2	▲0.6	▲0.1	1.1	▲0.6	0.2
40 代	▲70.9	▲43.1	▲22.5	▲40.9	▲44.1	2.7	▲1.4	▲0.8	▲2.0	▲0.7
50 代	▲70.6	▲43.1	▲23.9	▲33.4	▲43.0	3.7	▲1.7	▲1.4	0.5	▲0.4
60 代	▲74.6	▲37.2	▲13.0	▲28.5	▲39.5	0.1	0.8	1.8	1.7	1.0
70 代以上	▲80.9	▲36.4	▲30.0	▲41.2	▲47.8	▲4.3	0.6	▲2.6	▲1.1	▲1.5

図表 26-1 福島県の宿泊者数の推移（月次・年代別）



図表 26-2 福島県の宿泊者数とシェア（四半期・年代別）

単位: 千人

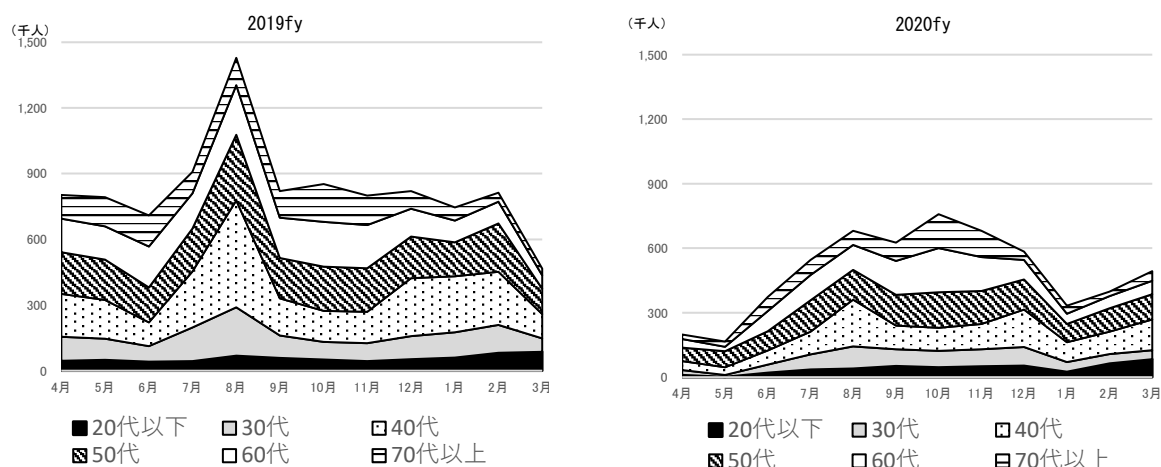
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	2,724	—	3,172	—	2,875	—	2,635	—	11,405	—
20代以下	138	5.1	191	6.0	140	4.9	203	7.7	672	5.9
30代	364	13.4	514	16.2	385	13.4	420	15.9	1,683	14.8
40代	589	21.6	897	28.3	685	23.8	800	30.4	2,972	26.1
50代	562	20.6	719	22.7	622	21.6	590	22.4	2,494	21.9
60代	644	23.6	544	17.1	639	22.2	406	15.4	2,233	19.6
70代以上	426	15.7	307	9.7	403	14.0	216	8.2	1,351	11.8

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,465	—	2,515	—	2,895	—	1,683	—	8,558	—
20代以下	89	6.1	169	6.7	189	6.5	114	6.8	560	6.5
30代	269	18.3	383	15.2	394	13.6	197	11.7	1,243	14.5
40代	346	23.6	584	23.2	621	21.5	521	30.9	2,072	24.2
50代	340	23.2	576	22.9	629	21.7	438	26.0	1,983	23.2
60代	236	16.1	538	21.4	651	22.5	273	16.2	1,700	19.9
70代以上	185	12.6	266	10.6	410	14.2	140	8.3	1,001	11.7

図表 26-3 福島県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲46.2	▲20.7	0.7	▲36.1	▲25.0	—	—	—	—	—
20代以下	▲35.6	▲11.6	35.2	▲44.1	▲16.6	1.0	0.7	1.7	▲1.0	0.7
30代	▲26.2	▲25.5	2.3	▲53.1	▲26.2	5.0	▲1.0	0.2	▲4.2	▲0.2
40代	▲41.3	▲34.9	▲9.3	▲34.9	▲30.3	2.0	▲5.1	▲2.4	0.6	▲1.8
50代	▲39.5	▲20.0	1.1	▲25.7	▲20.5	2.6	0.2	0.1	3.6	1.3
60代	▲63.3	▲1.0	1.9	▲32.6	▲23.9	▲7.5	4.3	0.3	0.8	0.3
70代以上	▲56.7	▲13.4	1.8	▲35.1	▲26.0	▲3.0	0.9	0.2	0.1	▲0.2

図表 27-1 新潟県の宿泊者数の推移（月次・年代別）



図表 27-2 新潟県の宿泊者数とシェア（四半期・年代別）

単位: 千人

2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	2,303	—	3,158	—	2,472	—	2,025	—	9,958	—
20代以下	137	5.9	170	5.4	148	6.0	229	11.3	684	6.9
30代	275	12.0	478	15.1	267	10.8	304	15.0	1,324	13.3
40代	482	20.9	913	28.9	552	22.3	608	30.0	2,555	25.7
50代	534	23.2	680	21.5	590	23.9	493	24.3	2,297	23.1
60代	492	21.4	572	18.1	528	21.4	260	12.8	1,852	18.6
70代以上	382	16.6	344	10.9	388	15.7	132	6.5	1,245	12.5

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	737	—	1,852	—	2,023	—	1,223	—	5,835	—
20代以下	33	4.5	129	6.9	151	7.5	172	14.1	484	8.3
30代	68	9.2	250	13.5	242	12.0	131	10.7	691	11.8
40代	143	19.5	434	23.4	397	19.6	340	27.8	1,315	22.5
50代	227	30.8	428	23.1	462	22.8	311	25.4	1,427	24.5
60代	154	20.9	390	21.1	453	22.4	168	13.7	1,165	20.0
70代以上	112	15.1	222	12.0	318	15.7	102	8.3	752	12.9

図表 27-3 新潟県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲68.0	▲41.3	▲18.2	▲39.6	▲41.4	—	—	—	—	—
20代以下	▲75.9	▲24.5	2.1	▲24.9	▲29.2	▲1.5	1.5	1.5	2.7	1.4
30代	▲75.3	▲47.7	▲9.3	▲56.8	▲47.8	▲2.7	▲1.6	1.2	▲4.3	▲1.4
40代	▲70.3	▲52.4	▲28.0	▲44.1	▲48.5	▲1.5	▲5.5	▲2.7	▲2.2	▲3.1
50代	▲57.6	▲37.1	▲21.7	▲37.0	▲37.9	7.6	1.6	▲1.0	1.1	1.4
60代	▲68.7	▲31.8	▲14.3	▲35.5	▲37.1	▲0.5	3.0	1.0	0.9	1.4
70代以上	▲70.8	▲35.6	▲18.0	▲22.8	▲39.6	▲1.4	1.1	0.0	1.8	0.4

③ 参加形態別

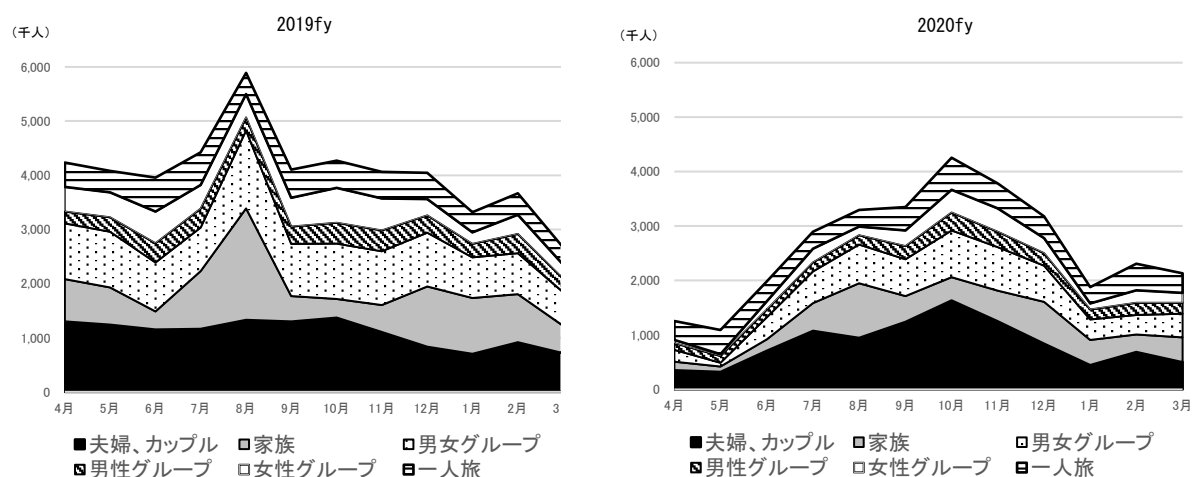
2020 年度の東北圏の宿泊者数を参加形態別に見ると、全ての参加形態で前年度から減少したものの、比較的減少幅が小さかった夫婦・カップル、一人旅などでは全体に占めるシェアが拡大した。

四半期単位で推移を見ると、最初の緊急事態宣言が発出された第 1 四半期では全ての参加形態で大幅に減少し、特に男女グループ、女性グループでは▲80%前後と落ち込みが大きかった。GoTo トラベル事業が始まった第 2 四半期には、一人旅では減少幅が拡大したが、それ以外では夫婦・カップルを中心に減少幅が縮小した。GoTo トラベル事業に東京が追加された第 3 四半期では夫婦・カップルが前年度から 12.8%増と 2 桁の大幅増に転じた他、一人旅を中心にその他全ての参加形態でもマイナス幅が大幅に縮小した。しかしながら、再び緊急事態宣言が発出された第 4 四半期には一人旅は前年度比プラスになったものの、それ以外の参加形態では減少幅が拡大した。

以上のとおり 2020 年度を通じて見ると、コロナ禍における感染防止意識の高まりから、家族・グループなどの大人数での旅行は避け、夫婦、カップル、一人旅など少人数での旅行にシフトした傾向がうかがわれる。

同様の傾向は東北圏の各県でも顕著に表れており、夫婦、カップル、一人旅を中心に各県におけるシェアが拡大した。

図表 28-1 東北圏の宿泊者数の推移（月次・参加形態別）



図表 28-2 東北圏の宿泊者数とシェア（四半期・参加形態別）

単位:千人

2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	12,269	—	14,416	—	12,377	—	9,652	—	48,714	—
夫婦、カップル	3,697	30.1	3,797	26.3	3,311	26.8	2,336	24.2	13,141	27.0
家族	1,798	14.7	3,585	24.9	1,959	15.8	2,424	25.1	9,765	20.0
男女グループ	2,955	24.1	3,216	22.3	3,007	24.3	2,126	22.0	11,303	23.2
男性グループ	850	6.9	909	6.3	1,082	8.7	848	8.8	3,689	7.6
女性グループ	1,498	12.2	1,399	9.7	1,538	12.4	834	8.6	5,269	10.8
一人旅	1,472	12.0	1,510	10.5	1,480	12.0	1,084	11.2	5,546	11.4

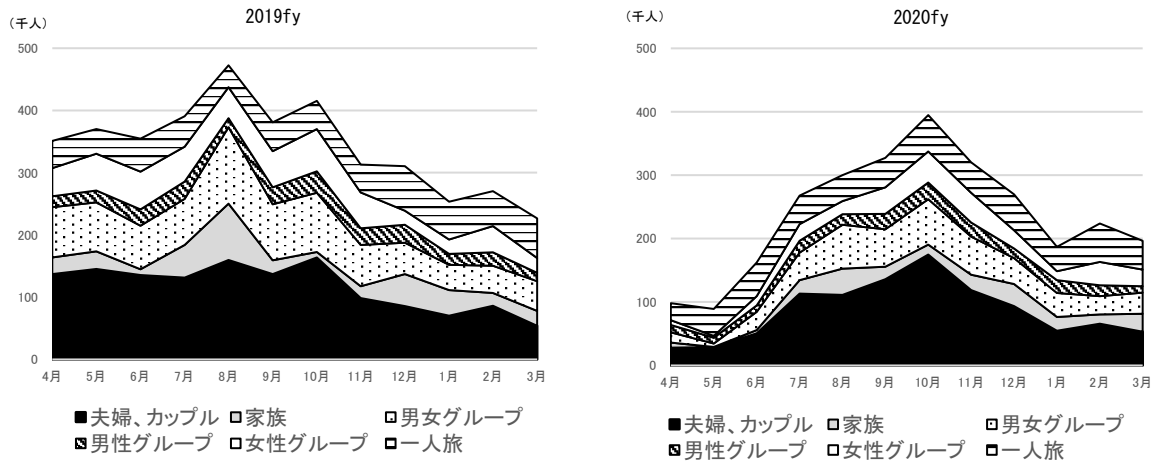
2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	4,327	—	9,535	—	11,213	—	6,310	—	31,384	—
夫婦、カップル	1,393	32.2	3,276	34.4	3,736	33.3	1,643	26.0	10,048	32.0
家族	456	10.5	1,969	20.6	1,746	15.6	1,235	19.6	5,405	17.2
男女グループ	694	16.0	1,968	20.6	2,326	20.7	1,164	18.4	6,152	19.6
男性グループ	390	9.0	584	6.1	834	7.4	605	9.6	2,414	7.7
女性グループ	244	5.6	694	7.3	1,130	10.1	522	8.3	2,590	8.3
一人旅	1,150	26.6	1,044	10.9	1,440	12.8	1,142	18.1	4,776	15.2

図表 28-3 東北圏 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲64.7	▲33.9	▲9.4	▲34.6	▲35.6	—	—	—	—	—
夫婦、カップル	▲62.3	▲13.7	12.8	▲29.7	▲23.5	2.1	8.0	6.6	1.8	5.0
家族	▲74.7	▲45.1	▲10.9	▲49.1	▲44.6	▲4.1	▲4.2	▲0.3	▲5.5	▲2.8
男女グループ	▲76.5	▲38.8	▲22.6	▲45.3	▲45.6	▲8.0	▲1.7	▲3.5	▲3.6	▲3.6
男性グループ	▲54.1	▲35.7	▲22.9	▲28.7	▲34.6	2.1	▲0.2	▲1.3	0.8	0.1
女性グループ	▲83.7	▲50.4	▲26.5	▲37.4	▲50.9	▲6.6	▲2.4	▲2.3	▲0.4	▲2.6
一人旅	▲21.9	▲30.9	▲2.7	5.4	▲13.9	14.6	0.5	0.9	6.9	3.8

以上より、コロナ禍における東北圏の宿泊市場の需要構造は、コロナ前の首都圏居住者中心から東北圏居住者中心へ、30代から60代の幅広い年代層から20代、50代、60代の若年、アクティブシニア層へ、家族、グループによる大人数旅行から夫婦、カップル、一人旅の少人数旅行へとシフトしたことがうかがわれる。

図表 29-1 青森県の宿泊者数の推移（月次・参加形態別）



図表 29-2 青森県の宿泊者数とシェア（四半期・参加形態別）

単位: 千人

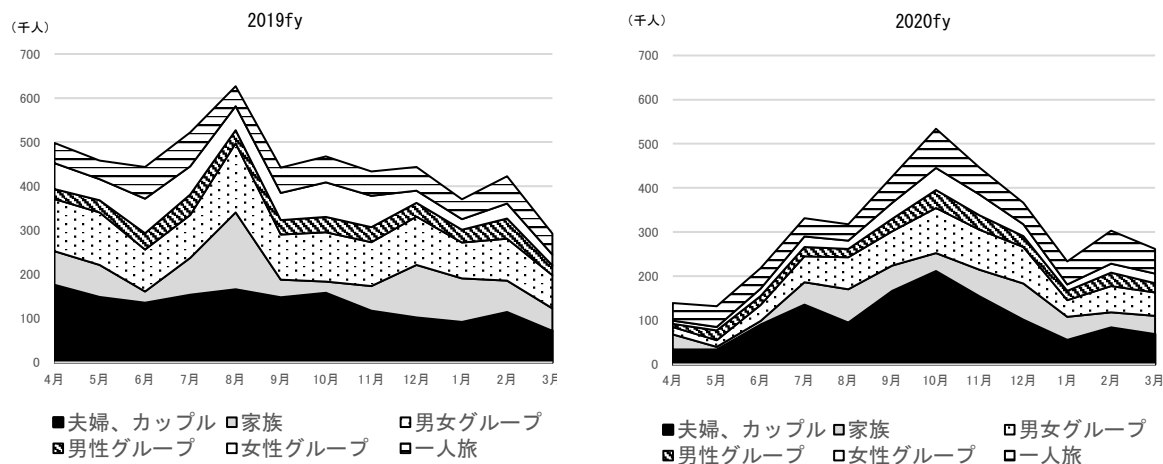
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,076	—	1,244	—	1,039	—	751	—	4,109	—
夫婦、カップル	418	38.9	428	34.4	349	33.5	210	28.0	1,405	34.2
家族	64	5.9	165	13.3	79	7.6	86	11.5	394	9.6
男女グループ	230	21.4	286	23.0	212	20.4	132	17.6	860	20.9
男性グループ	63	5.8	70	5.6	90	8.7	53	7.0	275	6.7
女性グループ	165	15.4	163	13.1	148	14.3	89	11.9	566	13.8
一人旅	418	38.9	428	34.4	349	33.5	210	28.0	1,405	34.2

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	349	—	895	—	985	—	607	—	2,836	—
夫婦、カップル	108	31.0	360	40.3	388	39.4	174	28.6	1,030	36.3
家族	13	3.7	83	9.2	75	7.6	65	10.6	235	8.3
男女グループ	51	14.5	172	19.2	172	17.5	100	16.5	495	17.4
男性グループ	31	8.8	60	6.7	63	6.4	48	7.8	201	7.1
女性グループ	25	7.2	89	9.9	125	12.7	77	12.7	317	11.2
一人旅	108	31.0	360	40.3	388	39.4	174	28.6	1,030	36.3

図表 29-3 青森県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲67.5	▲28.0	▲5.2	▲19.1	▲31.0	—	—	—	—	—
夫婦、カップル	▲74.1	▲15.9	11.2	▲17.4	▲26.7	▲7.9	5.8	5.8	0.6	2.1
家族	▲79.6	▲50.1	▲5.4	▲24.8	▲40.4	▲2.2	▲4.1	0.0	▲0.8	▲1.3
男女グループ	▲78.0	▲40.1	▲18.6	▲23.9	▲42.5	▲6.9	▲3.9	▲2.9	▲1.0	▲3.5
男性グループ	▲50.8	▲14.6	▲29.8	▲9.6	▲26.9	3.0	1.0	▲2.3	0.8	0.4
女性グループ	▲84.8	▲45.6	▲15.5	▲13.5	▲44.1	▲8.2	▲3.2	▲1.6	0.8	▲2.6
一人旅	▲10.6	1.3	0.1	▲20.4	▲8.1	22.2	4.3	0.9	▲0.4	4.9

図表 30-1 岩手県の宿泊者数の推移（月次・参加形態別）



図表 30-2 岩手県の宿泊者数とシェア（四半期・参加形態別）

単位：千人

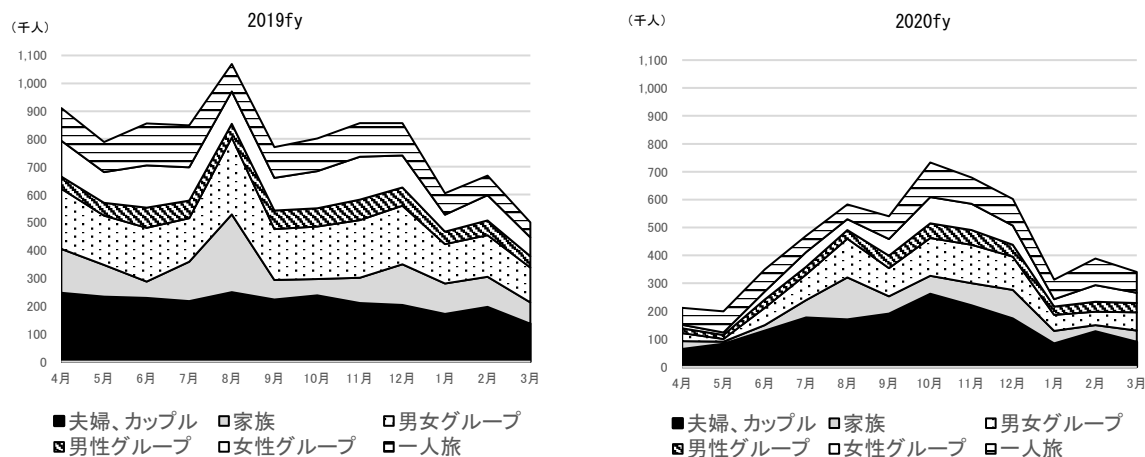
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,400	—	1,591	—	1,345	—	1,086	—	5,421	—
夫婦、カップル	460	32.9	468	29.4	377	28.1	278	25.6	1,584	29.2
家族	174	12.4	298	18.7	201	15.0	221	20.3	894	16.5
男女グループ	333	23.8	357	22.4	320	23.8	252	23.2	1,262	23.3
男性グループ	87	6.2	110	6.9	101	7.5	97	8.9	395	7.3
女性グループ	184	13.2	180	11.3	177	13.2	83	7.6	624	11.5
一人旅	160	11.4	180	11.3	168	12.5	155	14.3	663	12.2

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	489	—	1,074	—	1,346	—	798	—	3,708	—
夫婦、カップル	158	32.3	397	36.9	467	34.7	209	26.1	1,230	33.2
家族	48	9.8	184	17.2	183	13.6	127	16.0	543	14.6
男女グループ	69	14.0	208	19.3	276	20.5	150	18.8	702	18.9
男性グループ	50	10.1	69	6.4	97	7.2	73	9.2	289	7.8
女性グループ	32	6.4	79	7.4	124	9.2	56	7.1	291	7.9
一人旅	134	27.3	137	12.8	198	14.7	183	22.9	652	17.6

図表 30-3 岩手県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲65.0	▲32.5	0.1	▲26.5	▲31.6	—	—	—	—	—
夫婦、カップル	▲65.7	▲15.1	23.7	▲25.0	▲22.3	▲0.6	7.5	6.6	0.5	4.0
家族	▲72.5	▲38.1	▲8.8	▲42.3	▲39.2	▲2.6	▲1.6	▲1.3	▲4.4	▲1.8
男女グループ	▲79.4	▲41.8	▲13.9	▲40.5	▲44.4	▲9.8	▲3.1	▲3.3	▲4.4	▲4.4
男性グループ	▲43.1	▲36.9	▲3.2	▲24.8	▲26.7	3.9	▲0.4	▲0.3	0.2	0.5
女性グループ	▲82.9	▲56.0	▲29.8	▲31.8	▲53.3	▲6.7	▲3.9	▲3.9	▲0.5	▲3.6
一人旅	▲16.7	▲23.6	18.0	17.9	▲1.7	15.8	1.5	2.2	8.6	5.4

図表 31-1 宮城県の宿泊者数の推移（月次・参加形態別）



図表 31-2 宮城県の宿泊者数とシェア（四半期・参加形態別）

単位:千人

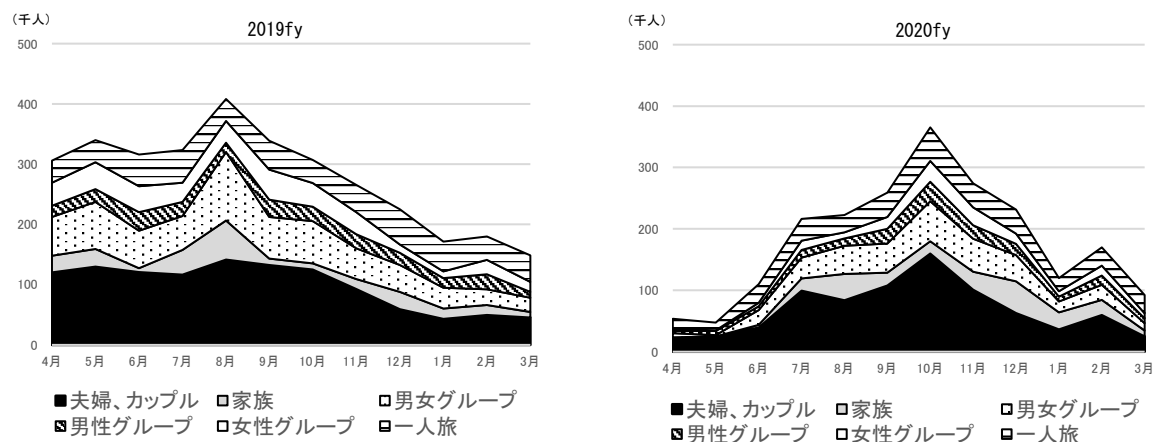
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	2,556	—	2,689	—	2,515	—	1,774	—	9,534	—
夫婦、カップル	711	27.8	691	25.7	653	26.0	504	28.4	2,558	26.8
家族	330	12.9	490	18.2	295	11.7	294	16.6	1,409	14.8
男女グループ	585	22.9	616	22.9	606	24.1	416	23.5	2,223	23.3
男性グループ	164	6.4	178	6.6	206	8.2	138	7.8	686	7.2
女性グループ	392	15.3	354	13.2	402	16.0	221	12.4	1,368	14.3
一人旅	376	14.7	359	13.3	354	14.1	201	11.3	1,290	13.5

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	759	—	1,593	—	2,014	—	1,041	—	5,408	—
夫婦、カップル	278	36.6	539	33.8	657	32.6	303	29.1	1,776	32.9
家族	56	7.4	274	17.2	246	12.2	107	10.3	683	12.6
男女グループ	99	13.0	332	20.8	393	19.5	170	16.3	993	18.4
男性グループ	62	8.1	103	6.4	148	7.4	101	9.7	413	7.6
女性グループ	51	6.7	152	9.6	258	12.8	122	11.7	582	10.8
一人旅	214	28.2	193	12.1	313	15.5	239	23.0	959	17.7

図表 31-3 宮城県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲70.3	▲40.8	▲19.9	▲41.3	▲43.3	—	—	—	—	—
夫婦、カップル	▲60.9	▲22.0	0.6	▲40.0	▲30.6	8.8	8.1	6.7	0.6	6.0
家族	▲83.1	▲44.1	▲16.6	▲63.7	▲51.6	▲5.5	▲1.0	0.5	▲6.3	▲2.2
男女グループ	▲83.1	▲46.1	▲35.1	▲59.1	▲55.3	▲9.9	▲2.1	▲4.6	▲7.1	▲4.9
男性グループ	▲62.2	▲42.5	▲28.0	▲27.0	▲39.7	1.7	▲0.2	▲0.8	1.9	0.4
女性グループ	▲87.1	▲57.0	▲35.9	▲44.8	▲57.4	▲8.6	▲3.6	▲3.2	▲0.7	▲3.6
一人旅	▲42.9	▲46.2	▲11.8	19.2	▲25.6	13.5	▲1.2	1.4	11.7	4.2

図表 32-1 秋田県の宿泊者数の推移（月次・参加形態別）



図表 32-2 秋田県の宿泊者数とシェア（四半期・参加形態別）

単位: 千人

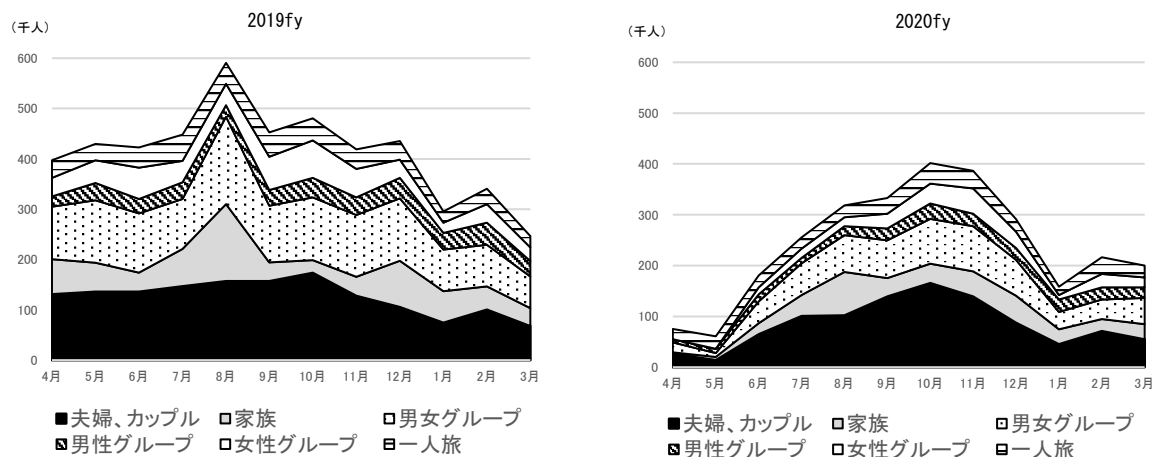
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	962	—	1,070	—	797	—	499	—	3,329	—
夫婦、カップル	372	38.6	391	36.5	278	34.8	139	27.7	1,179	35.4
家族	63	6.5	116	10.8	55	6.9	43	8.6	277	8.3
男女グループ	205	21.3	239	22.3	166	20.8	83	16.7	693	20.8
男性グループ	71	7.3	68	6.4	68	8.5	51	10.2	257	7.7
女性グループ	126	13.1	118	11.0	90	11.2	52	10.3	385	11.6
一人旅	126	13.1	139	12.9	142	17.8	132	26.5	539	16.2

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	211	—	697	—	871	—	382	—	2,162	—
夫婦、カップル	85	40.2	291	41.8	324	37.2	121	31.7	822	38.0
家族	7	3.4	83	11.9	101	11.6	62	16.2	253	11.7
男女グループ	33	15.5	128	18.3	162	18.6	54	14.1	376	17.4
男性グループ	16	7.8	48	6.9	72	8.2	31	8.0	167	7.7
女性グループ	10	4.9	44	6.3	80	9.1	33	8.7	167	7.7
一人旅	59	28.2	103	14.8	133	15.3	81	21.3	377	17.4

図表 32-3 秋田県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲78.0	▲34.8	9.2	▲23.5	▲35.1	—	—	—	—	—
夫婦、カップル	▲77.1	▲25.5	16.8	▲12.4	▲30.3	1.6	5.3	2.4	4.0	2.6
家族	▲88.4	▲28.4	82.5	44.0	▲8.6	▲3.1	1.1	4.6	7.6	3.4
男女グループ	▲84.0	▲46.5	▲2.3	▲35.6	▲45.7	▲5.8	▲4.0	▲2.2	▲2.6	▲3.4
男性グループ	▲76.7	▲29.0	5.7	▲39.8	▲35.1	0.4	0.6	▲0.3	▲2.2	0.0
女性グループ	▲91.8	▲62.6	▲11.2	▲35.5	▲56.6	▲8.2	▲4.7	▲2.1	▲1.6	▲3.8
一人旅	▲52.9	▲25.8	▲6.0	▲38.5	▲30.0	15.0	1.8	▲2.5	▲5.2	1.3

図表 33-1 山形県の宿泊者数の推移（月次・参加形態別）



図表 33-2 山形県の宿泊者数とシェア（四半期・参加形態別）

単位：千人

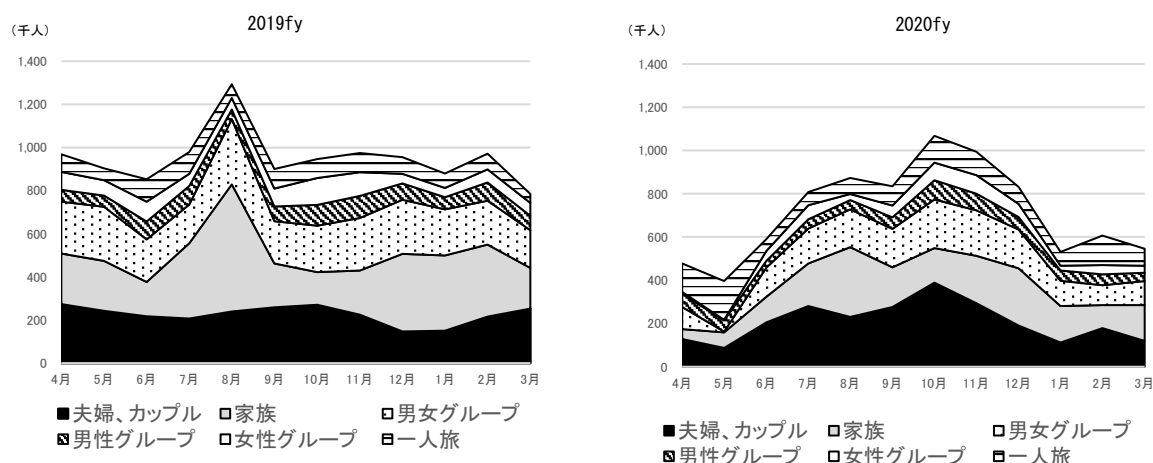
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,249	—	1,492	—	1,334	—	882	—	4,958	—
夫婦、カップル	404	32.4	462	31.0	408	30.6	243	27.6	1,517	30.6
家族	164	13.1	264	17.7	154	11.5	143	16.3	725	14.6
男女グループ	346	27.7	385	25.8	372	27.9	228	25.9	1,331	26.9
男性グループ	84	6.7	88	5.9	115	8.6	108	12.3	394	7.9
女性グループ	145	11.6	150	10.1	167	12.5	84	9.5	546	11.0
一人旅	107	8.6	143	9.6	119	8.9	76	8.6	444	9.0

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	316	—	907	—	1,079	—	575	—	2,877	—
夫婦、カップル	106	33.6	343	37.8	393	36.5	172	29.9	1,014	35.3
家族	30	9.4	162	17.9	140	12.9	83	14.4	414	14.4
男女グループ	70	22.1	209	23.1	248	22.9	124	21.5	651	22.6
男性グループ	28	9.0	52	5.7	78	7.2	70	12.2	228	7.9
女性グループ	14	4.6	64	7.1	121	11.2	54	9.4	254	8.8
一人旅	67	21.3	76	8.4	99	9.2	73	12.7	316	11.0

図表 33-3 山形県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲74.7	▲39.2	▲19.1	▲34.8	▲42.0	—	—	—	—	—
夫婦、カップル	▲73.7	▲25.8	▲3.5	▲29.3	▲33.2	1.2	6.8	5.9	2.3	4.6
家族	▲81.8	▲38.7	▲9.0	▲42.4	▲42.9	▲3.7	0.2	1.4	▲1.9	▲0.2
男女グループ	▲79.8	▲45.6	▲33.5	▲45.8	▲51.1	▲5.6	▲2.7	▲4.9	▲4.4	▲4.2
男性グループ	▲66.0	▲40.8	▲31.9	▲35.4	▲42.1	2.3	▲0.2	▲1.4	▲0.1	0.0
女性グループ	▲90.0	▲57.3	▲27.6	▲35.7	▲53.6	▲7.0	▲3.0	▲1.3	▲0.1	▲2.2
一人旅	▲37.0	▲46.4	▲16.7	▲2.9	▲28.8	12.8	▲1.1	0.3	4.2	2.0

図表 34-1 福島県の宿泊者数の推移（月次・参加形態別）



図表 34-2 福島県の宿泊者数とシェア（四半期・参加形態別）

単位：千人

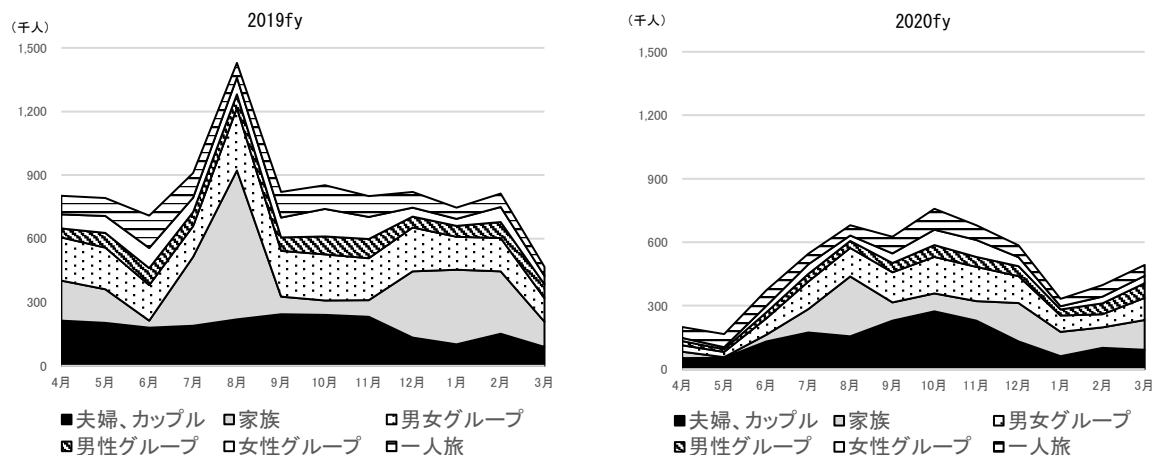
2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	2,724	—	3,172	—	2,875	—	2,635	—	11,405	—
夫婦、カップル	735	27.0	705	22.2	642	22.3	619	23.5	2,701	23.7
家族	623	22.9	1,142	36.0	716	24.9	872	33.1	3,353	29.4
男女グループ	689	25.3	677	21.4	709	24.7	592	22.5	2,667	23.4
男性グループ	191	7.0	201	6.3	276	9.6	208	7.9	876	7.7
女性グループ	246	9.0	192	6.1	278	9.7	162	6.2	878	7.7
一人旅	240	8.8	255	8.0	253	8.8	181	6.9	930	8.2

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	1,465	—	2,515	—	2,895	—	1,683	—	8,558	—
夫婦、カップル	422	28.8	787	31.3	873	30.1	409	24.3	2,491	29.1
家族	234	16.0	704	28.0	644	22.2	441	26.2	2,022	23.6
男女グループ	242	16.5	513	20.4	615	21.3	321	19.1	1,691	19.8
男性グループ	144	9.8	138	5.5	224	7.8	136	8.1	642	7.5
女性グループ	57	3.9	150	6.0	227	7.8	98	5.8	531	6.2
一人旅	367	25.0	223	8.9	312	10.8	278	16.5	1,180	13.8

図表 34-3 福島県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲46.2	▲20.7	0.7	▲36.1	▲25.0	—	—	—	—	—
夫婦、カップル	▲42.6	11.7	35.9	▲33.9	▲7.8	1.8	9.1	7.8	0.8	5.4
家族	▲62.4	▲38.4	▲10.1	▲49.4	▲39.7	▲6.9	▲8.0	▲2.7	▲6.9	▲5.8
男女グループ	▲64.9	▲24.2	▲13.2	▲45.8	▲36.6	▲8.8	▲0.9	▲3.4	▲3.4	▲3.6
男性グループ	▲24.7	▲31.1	▲18.7	▲34.9	▲26.7	2.8	▲0.8	▲1.8	0.1	▲0.2
女性グループ	▲76.9	▲22.0	▲18.5	▲39.6	▲39.5	▲5.2	▲0.1	▲1.8	▲0.3	▲1.5
一人旅	52.8	▲12.5	23.2	53.4	26.9	16.2	0.8	2.0	9.7	5.6

図表 35-1 新潟県の宿泊者数の推移（月次・参加形態別）



図表 35-2 新潟県の宿泊者数とシェア（四半期・参加形態別）

単位:千人

2019fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	2,303	—	3,158	—	2,472	—	2,025	—	9,958	—
夫婦、カップル	597	25.9	652	20.6	605	24.5	342	16.9	2,196	22.0
家族	381	16.5	1,109	35.1	459	18.6	764	37.7	2,714	27.3
男女グループ	567	24.6	656	20.8	623	25.2	423	20.9	2,268	22.8
男性グループ	192	8.3	194	6.2	227	9.2	193	9.5	806	8.1
女性グループ	240	10.4	242	7.7	276	11.2	144	7.1	902	9.1
一人旅	327	14.2	305	9.7	283	11.4	158	7.8	1,073	10.8

2020fy	1Q	シェア(%)	2Q	シェア(%)	3Q	シェア(%)	4Q	シェア(%)	年度計	シェア(%)
総数	737	—	1,852	—	2,023	—	1,223	—	5,835	—
夫婦、カップル	236	32.0	558	30.1	634	31.4	255	20.9	1,684	28.9
家族	68	9.2	479	25.9	358	17.7	350	28.7	1,256	21.5
男女グループ	132	17.9	406	21.9	460	22.7	245	20.1	1,244	21.3
男性グループ	59	8.0	114	6.2	151	7.5	148	12.1	472	8.1
女性グループ	55	7.5	115	6.2	196	9.7	81	6.6	448	7.7
一人旅	187	25.4	179	9.7	223	11.0	143	11.7	732	12.5

図表 35-3 新潟県 宿泊者数の増減率およびシェア差（2019fy・2020fy 対比）

	増減率(%)					シェア差(%ポイント)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計
総数	▲68.0	▲41.3	▲18.2	▲39.6	▲41.4	—	—	—	—	—
夫婦、カップル	▲60.5	▲14.4	4.9	▲25.5	▲23.3	6.1	9.5	6.9	4.0	6.8
家族	▲82.2	▲56.8	▲22.0	▲54.1	▲53.7	▲7.3	▲9.3	▲0.9	▲9.1	▲5.7
男女グループ	▲76.7	▲38.0	▲26.1	▲42.0	▲45.2	▲6.7	1.2	▲2.4	▲0.8	▲1.5
男性グループ	▲69.1	▲41.1	▲33.5	▲23.6	▲41.4	▲0.3	0.0	▲1.7	2.5	0.0
女性グループ	▲77.0	▲52.3	▲29.1	▲43.4	▲50.4	▲2.9	▲1.4	▲1.5	▲0.4	▲1.4
一人旅	▲42.8	▲41.4	▲20.9	▲9.6	▲31.7	11.2	0.0	▲0.4	3.9	1.8

3-2. 他地域との比較

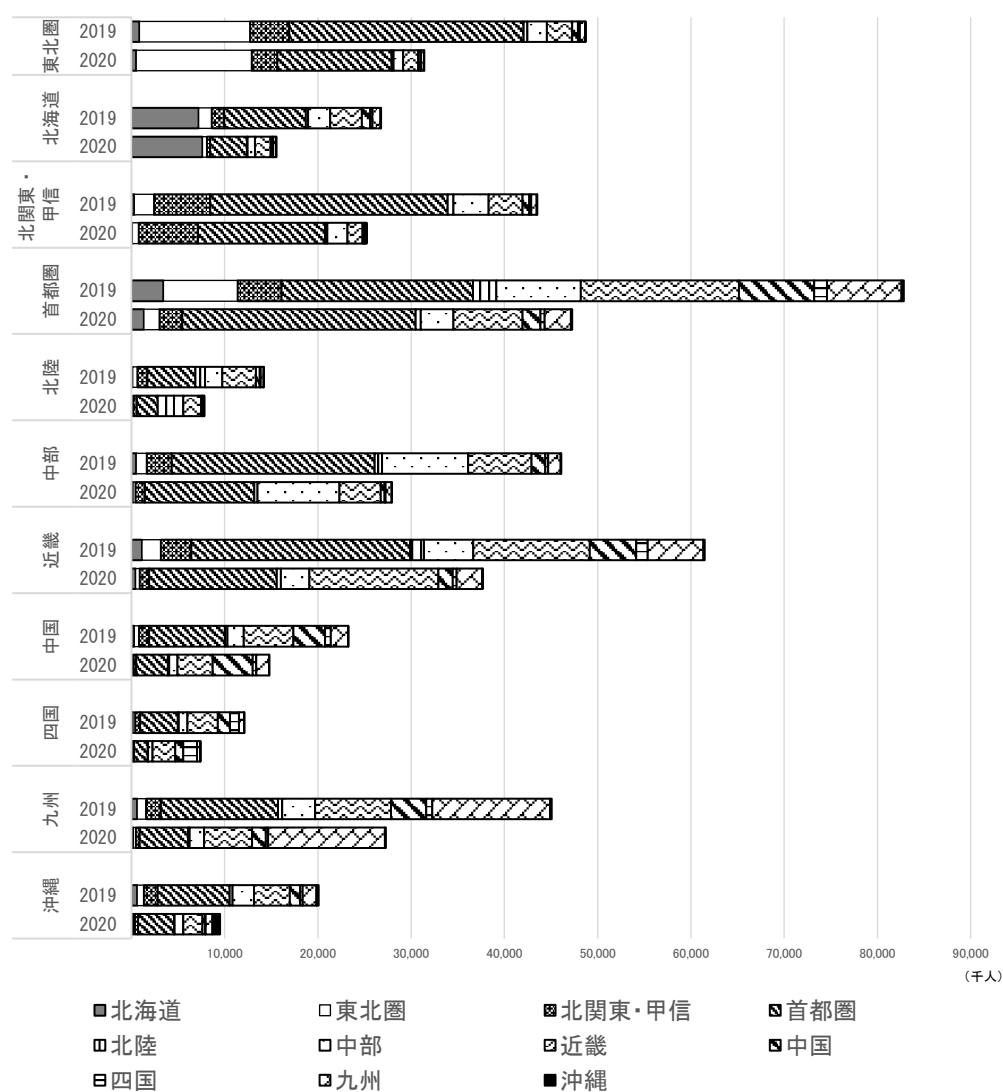
① 居住地別（出発地）

2020年度の各地域を目的地とする宿泊者数を居住地別に見ると、中部・九州を除く全ての地域で地域内居住者による宿泊者数が増加し、全ての地域で地域内居住者の宿泊者全体に占めるシェアが拡大した。

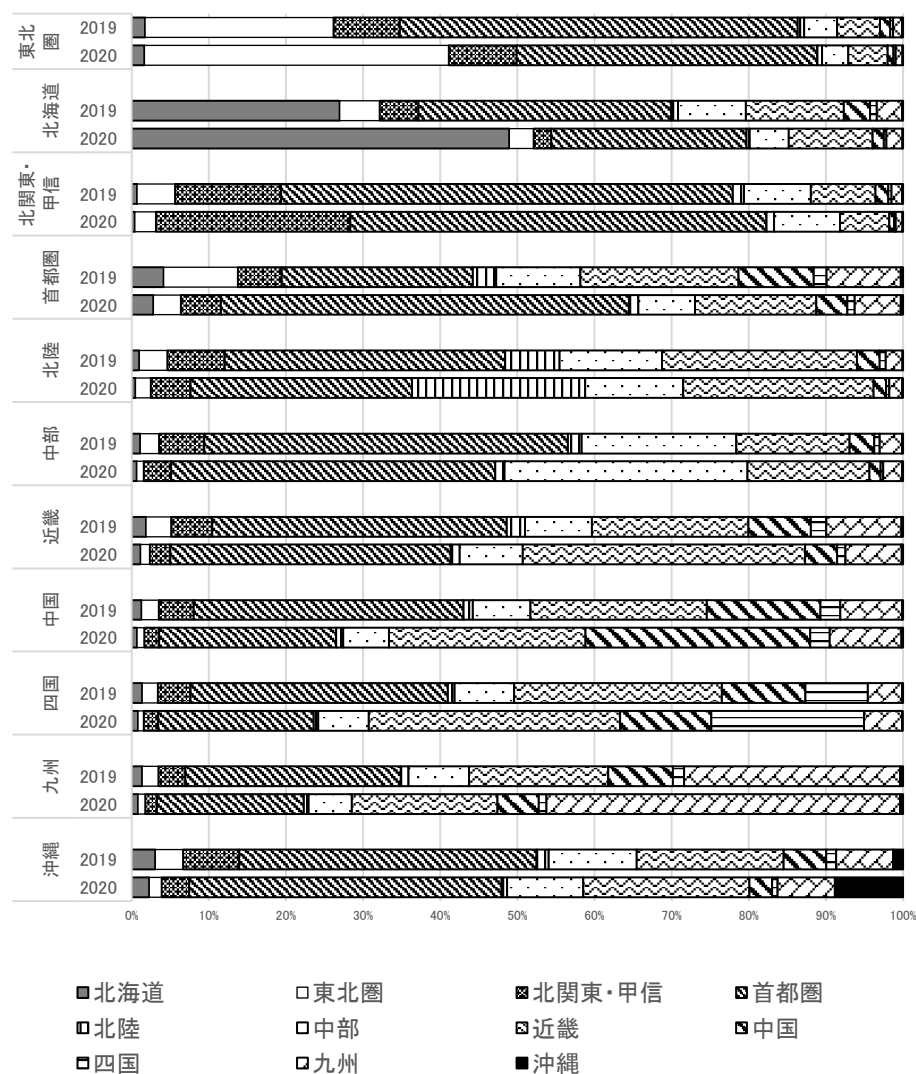
一方で、首都圏居住者による宿泊者数は、首都圏を除く全地域で減少し、宿泊者全体に占めるシェアは首都圏および沖縄県を除く全ての地域で縮小した。

以上から、首都圏を除く全ての地域において、首都圏をはじめとした他地域からの宿泊者が減少する代わりに、各地域内居住者が増加したため、各地域内居住者のシェアが拡大した（より詳細な宿泊市場の構造分析は次章で扱う）。

図表 36-1 圏域別宿泊者数（人数）



図表 36-2 圏域別宿泊者数（構成比）



図表 36-3 圏域別 宿泊者数(内訳)

単位:千人

居住地 目的地		北海道	東北圏	北関東・ 甲信	首都圏	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	計
北海道	2019	7,209	1,395	1,338	8,770	235	2,360	3,396	910	237	869	36	26,755
	2020	7,602	489	356	3,931	62	790	1,690	220	56	319	14	15,529
東北圏	2019	844	11,901	4,182	25,126	411	2,080	2,708	643	187	579	52	48,714
	2020	510	12,390	2,766	12,224	205	1,061	1,604	238	82	283	21	31,384
北関東・ 甲信	2019	305	2,140	5,983	25,486	617	3,777	3,651	722	189	586	55	43,512
	2020	97	692	6,353	13,609	251	2,155	1,612	162	46	226	16	25,219
首都圏	2019	3,428	7,970	4,692	20,538	2,505	9,056	16,954	8,078	1,387	7,971	243	82,822
	2020	1,326	1,694	2,438	25,016	564	3,484	7,419	1,919	439	2,818	146	47,264
北陸	2019	140	518	1,055	5,156	1,006	1,883	3,587	420	109	305	12	14,191
	2020	39	154	401	2,234	1,746	987	1,924	125	30	135	3	7,778
中部	2019	503	1,134	2,699	21,737	808	9,240	6,780	1,471	332	1,328	63	46,096
	2020	182	260	980	11,751	337	8,810	4,413	406	97	685	32	27,952
近畿	2019	1,136	2,021	3,256	23,471	1,471	5,317	12,478	4,977	1,230	5,999	115	61,472
	2020	425	461	994	13,712	427	3,080	13,803	1,557	405	2,757	62	37,683
中国	2019	291	524	1,053	8,145	282	1,736	5,324	3,421	604	1,863	26	23,269
	2020	100	144	281	3,398	138	875	3,771	4,313	370	1,379	27	14,796
四国	2019	165	247	512	4,038	104	933	3,260	1,309	980	538	14	12,098
	2020	61	56	138	1,491	44	485	2,413	876	1,464	365	9	7,402
九州	2019	607	952	1,578	12,592	450	3,539	8,131	3,776	653	12,629	169	45,075
	2020	217	265	413	5,186	175	1,525	5,155	1,461	267	12,516	97	27,277
沖縄	2019	618	720	1,463	7,743	316	2,298	3,830	1,109	255	1,480	261	20,093
	2020	215	154	340	3,853	67	941	2,050	281	67	705	840	9,513

図表 36-4 圏域別 宿泊者数増減率(2019・2020fy 対比)

単位: %

居住地 目的地		北海道	東北圏	北関東・ 甲信	首都圏	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	計
北海道		5.4	▲64.9	▲73.4	▲55.2	▲73.6	▲66.5	▲50.2	▲75.8	▲76.5	▲63.3	▲61.9	▲42.0
東北圏		▲39.6	4.1	▲33.9	▲51.4	▲50.0	▲49.0	▲40.8	▲62.9	▲56.3	▲51.2	▲58.6	▲35.6
北関東・甲信		▲68.2	▲67.6	6.2	▲46.6	▲59.4	▲42.9	▲55.9	▲77.5	▲75.6	▲61.5	▲70.1	▲42.0
首都圏		▲61.3	▲78.7	▲48.0	21.8	▲77.5	▲61.5	▲56.2	▲76.2	▲68.3	▲64.6	▲39.9	▲42.9
北陸		▲72.2	▲70.4	▲62.0	▲56.7	73.6	▲47.6	▲46.4	▲70.1	▲72.7	▲55.7	▲73.3	▲45.2
中部		▲63.9	▲77.0	▲63.7	▲45.9	▲58.3	▲4.7	▲34.9	▲72.4	▲70.9	▲48.4	▲49.9	▲39.4
近畿		▲62.6	▲77.2	▲69.5	▲41.6	▲71.0	▲42.1	10.6	▲68.7	▲67.0	▲54.0	▲46.3	▲38.7
中国		▲65.7	▲72.6	▲73.3	▲58.3	▲51.0	▲49.6	▲29.2	26.1	▲38.8	▲26.0	6.7	▲36.4
四国		▲63.2	▲77.2	▲73.0	▲63.1	▲57.7	▲48.0	▲26.0	▲33.1	49.4	▲32.1	▲37.2	▲38.8
九州		▲64.3	▲72.1	▲73.8	▲58.8	▲61.2	▲56.9	▲36.6	▲61.3	▲59.1	▲0.9	▲42.7	▲39.5
沖縄		▲65.1	▲78.6	▲76.8	▲50.2	▲78.8	▲59.0	▲46.5	▲74.7	▲73.7	▲52.4	222.1	▲52.7

図表 36-5 圏域別宿泊者シェア

単位: %

居住地		北海道	東北圏	北関東・甲信	首都圏	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
目的地												
北海道	2019	26.9	5.2	5.0	32.8	0.9	8.8	12.7	3.4	0.9	3.2	0.1
	2020	48.9	3.2	2.3	25.3	0.4	5.1	10.9	1.4	0.4	2.1	0.1
東北圏	2019	1.7	24.4	8.6	51.6	0.8	4.3	5.6	1.3	0.4	1.2	0.1
	2020	1.6	39.5	8.8	38.9	0.7	3.4	5.1	0.8	0.3	0.9	0.1
北関東・甲信	2019	0.7	4.9	13.8	58.6	1.4	8.7	8.4	1.7	0.4	1.3	0.1
	2020	0.4	2.7	25.2	54.0	1.0	8.5	6.4	0.6	0.2	0.9	0.1
首都圏	2019	4.1	9.6	5.7	24.8	3.0	10.9	20.5	9.8	1.7	9.6	0.3
	2020	2.8	3.6	5.2	52.9	1.2	7.4	15.7	4.1	0.9	6.0	0.3
北陸	2019	1.0	3.7	7.4	36.3	7.1	13.3	25.3	3.0	0.8	2.2	0.1
	2020	0.5	2.0	5.1	28.7	22.4	12.7	24.7	1.6	0.4	1.7	0.0
中部	2019	1.1	2.5	5.9	47.2	1.8	20.0	14.7	3.2	0.7	2.9	0.1
	2020	0.7	0.9	3.5	42.0	1.2	31.5	15.8	1.5	0.3	2.4	0.1
近畿	2019	1.8	3.3	5.3	38.2	2.4	8.6	20.3	8.1	2.0	9.8	0.2
	2020	1.1	1.2	2.6	36.4	1.1	8.2	36.6	4.1	1.1	7.3	0.2
中国	2019	1.3	2.3	4.5	35.0	1.2	7.5	22.9	14.7	2.6	8.0	0.1
	2020	0.7	1.0	1.9	23.0	0.9	5.9	25.5	29.1	2.5	9.3	0.2
四国	2019	1.4	2.0	4.2	33.4	0.9	7.7	26.9	10.8	8.1	4.4	0.1
	2020	0.8	0.8	1.9	20.1	0.6	6.5	32.6	11.8	19.8	4.9	0.1
九州	2019	1.3	2.1	3.5	27.9	1.0	7.8	18.0	8.4	1.4	28.0	0.4
	2020	0.8	1.0	1.5	19.0	0.6	5.6	18.9	5.4	1.0	45.9	0.4
沖縄	2019	3.1	3.6	7.3	38.5	1.6	11.4	19.1	5.5	1.3	7.4	1.3
	2020	2.3	1.6	3.6	40.5	0.7	9.9	21.5	3.0	0.7	7.4	8.8

図表 36-6 圏域別 宿泊者数シェア差(2019・2020fy 対比)

単位: %ポイント

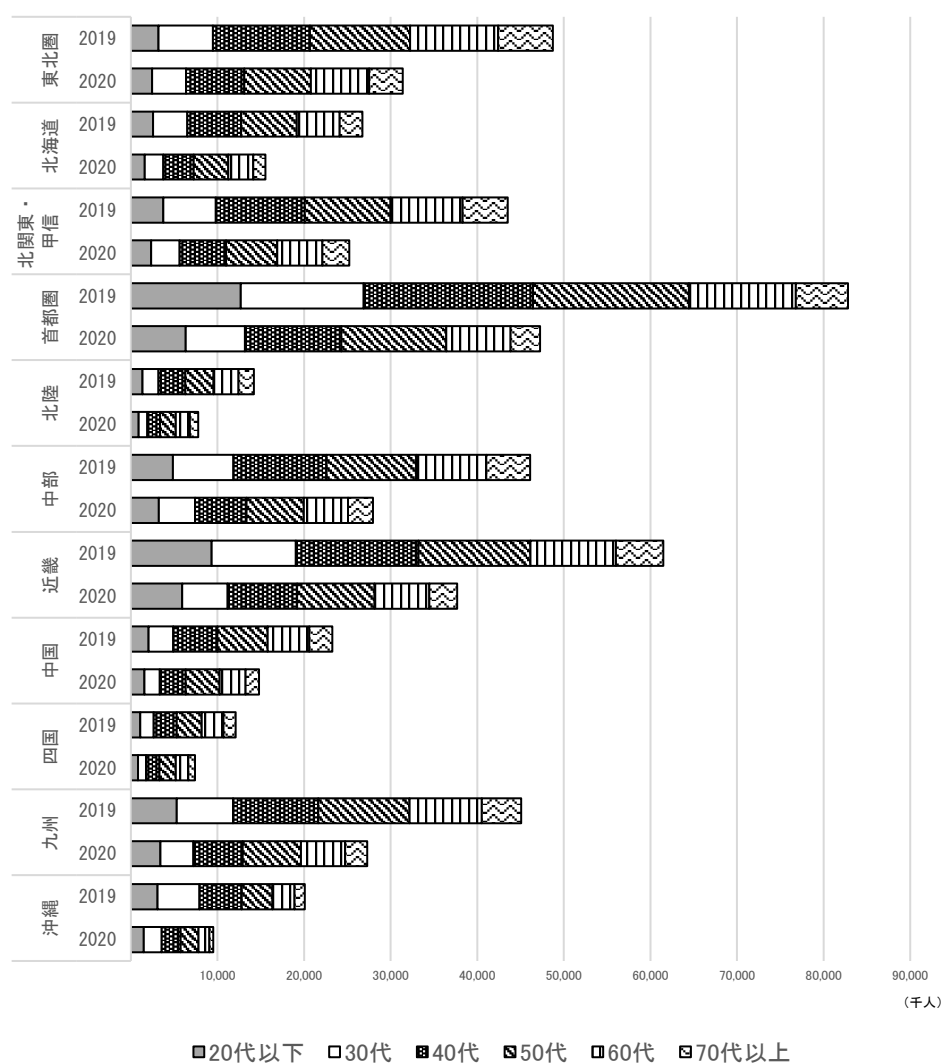
居住地		北海道	東北圏	北関東・甲信	首都圏	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
目的地												
北海道		22.0	▲2.1	▲2.7	▲7.5	▲0.5	▲3.7	▲1.8	▲2.0	▲0.5	▲1.2	0.0
東北圏		▲0.1	15.0	0.2	▲12.6	▲0.2	▲0.9	▲0.5	▲0.6	▲0.1	▲0.3	0.0
北関東・甲信		▲0.3	▲2.2	11.4	▲4.6	▲0.4	▲0.1	▲2.0	▲1.0	▲0.3	▲0.5	▲0.1
首都圏		▲1.3	▲6.0	▲0.5	28.1	▲1.8	▲3.6	▲4.8	▲5.7	▲0.7	▲3.7	0.0
北陸		▲0.5	▲1.7	▲2.3	▲7.6	15.4	▲0.6	▲0.5	▲1.3	▲0.4	▲0.4	0.0
中部		▲0.4	▲1.5	▲2.3	▲5.1	▲0.5	11.5	1.1	▲1.7	▲0.4	▲0.4	0.0
近畿		▲0.7	▲2.1	▲2.7	▲1.8	▲1.3	▲0.5	16.3	▲4.0	▲0.9	▲2.4	0.0
中国		▲0.6	▲1.3	▲2.6	▲12.0	▲0.3	▲1.5	2.6	14.4	▲0.1	1.3	0.1
四国		▲0.5	▲1.3	▲2.4	▲13.2	▲0.3	▲1.2	5.7	1.0	11.7	0.5	0.0
九州		▲0.6	▲1.1	▲2.0	▲8.9	▲0.4	▲2.3	0.9	▲3.0	▲0.5	17.9	0.0
沖縄		▲0.8	▲2.0	▲3.7	2.0	▲0.9	▲1.5	2.5	▲2.6	▲0.6	0.0	7.5

② 年代別

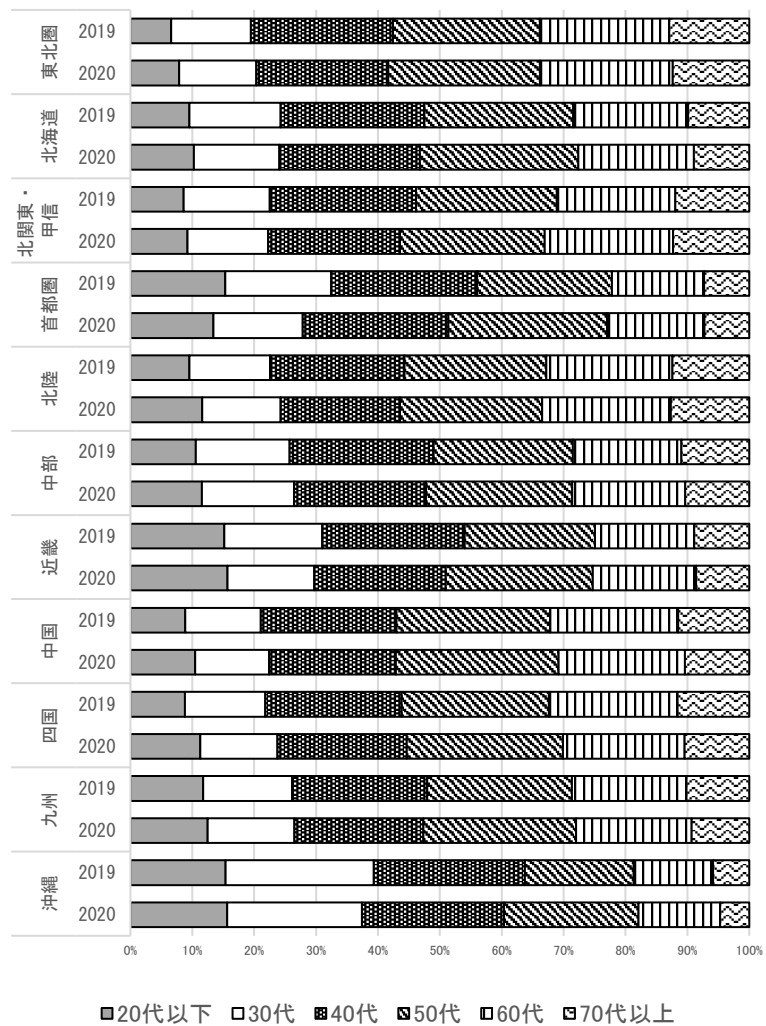
各地域を目的地とする宿泊者数を居住地別に見ると、2019 年度では概ねどの地域においても 40～60 代の各年代で 2 割前後の割合を占め、主要な市場になっている。沖縄に関しては、20 代、30 代の若い世代の割合が多くなっている。

一方、2020 年度ではどの年代層も宿泊者数が減少しているが、概ねどの地域においても 30 代・40 代・70 代以上の落ち込みが大きく、比較的減少幅が小さい 20 代、50 代、60 代に関しては、シェアが拡大している。

図表 37-1 年代別宿泊者数（人数）



図表 37-2 年代別宿泊者数（構成比）



図表 37-3 圏域別 宿泊者数(内訳)

単位:千人

年代 宿泊地		20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	計
北海道	2019	2,550	3,949	6,213	6,434	4,965	2,643	26,755
	2020	1,591	2,145	3,525	3,977	2,906	1,385	15,529
東北圏	2019	3,203	6,278	11,189	11,559	10,183	6,302	48,714
	2020	2,467	3,910	6,703	7,710	6,718	3,875	31,384
北関東 ・甲信	2019	3,739	6,050	10,294	9,908	8,316	5,203	43,512
	2020	2,330	3,289	5,367	5,905	5,227	3,102	25,219
首都圏	2019	12,706	14,189	19,530	18,019	12,357	6,022	82,822
	2020	6,330	6,837	11,124	12,132	7,417	3,424	47,264
北陸	2019	1,349	1,854	3,083	3,248	2,896	1,760	14,191
	2020	904	986	1,498	1,789	1,617	984	7,778
中部	2019	4,864	6,993	10,733	10,364	8,079	5,064	46,096
	2020	3,231	4,164	5,956	6,610	5,097	2,895	27,952
近畿	2019	9,340	9,706	14,159	12,940	9,861	5,466	61,472
	2020	5,907	5,285	8,011	8,952	6,295	3,233	37,683
中国	2019	2,057	2,845	5,106	5,770	4,825	2,667	23,269
	2020	1,551	1,767	3,030	3,884	3,025	1,537	14,796
四国	2019	1,064	1,572	2,667	2,880	2,511	1,403	12,098
	2020	837	921	1,546	1,869	1,454	775	7,402
九州	2019	5,289	6,501	9,828	10,542	8,354	4,561	45,075
	2020	3,405	3,829	5,673	6,741	5,086	2,541	27,277
沖縄	2019	3,088	4,816	4,899	3,544	2,572	1,174	20,093
	2020	1,489	2,070	2,188	2,064	1,255	448	9,513

図表 37-4 圏域別 宿泊者数増減率(2019・2020fy 対比)

単位: %

年代 宿泊地		20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	計
北海道		▲37.6	▲45.7	▲43.3	▲38.2	▲41.5	▲47.6	▲42.0
東北圏		▲23.0	▲37.7	▲40.1	▲33.3	▲34.0	▲38.5	▲35.6
北関東・甲信		▲37.7	▲45.6	▲47.9	▲40.4	▲37.1	▲40.4	▲42.0
首都圏		▲50.2	▲51.8	▲43.0	▲32.7	▲40.0	▲43.1	▲42.9
北陸		▲33.0	▲46.8	▲51.4	▲44.9	▲44.2	▲44.1	▲45.2
中部		▲33.6	▲40.5	▲44.5	▲36.2	▲36.9	▲42.8	▲39.4
近畿		▲36.8	▲45.5	▲43.4	▲30.8	▲36.2	▲40.9	▲38.7
中国		▲24.6	▲37.9	▲40.6	▲32.7	▲37.3	▲42.3	▲36.4
四国		▲21.4	▲41.4	▲42.0	▲35.1	▲42.1	▲44.8	▲38.8
九州		▲35.6	▲41.1	▲42.3	▲36.1	▲39.1	▲44.3	▲39.5
沖縄		▲51.8	▲57.0	▲55.3	▲41.8	▲51.2	▲61.9	▲52.7

図表 37-5 圏域別宿泊者シェア

単位: %

年代		20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
宿泊地	2019	9.5	14.8	23.2	24.0	18.6	9.9
	2020	10.2	13.8	22.7	25.6	18.7	8.9
北海道	2019	6.6	12.9	23.0	23.7	20.9	12.9
	2020	7.9	12.5	21.4	24.6	21.4	12.3
東北圏	2019	8.6	13.9	23.7	22.8	19.1	12.0
	2020	9.2	13.0	21.3	23.4	20.7	12.3
北関東・甲信	2019	15.3	17.1	23.6	21.8	14.9	7.3
	2020	13.4	14.5	23.5	25.7	15.7	7.2
首都圏	2019	9.5	13.1	21.7	22.9	20.4	12.4
	2020	11.6	12.7	19.3	23.0	20.8	12.7
北陸	2019	10.6	15.2	23.3	22.5	17.5	11.0
	2020	11.6	14.9	21.3	23.6	18.2	10.4
中部	2019	15.2	15.8	23.0	21.1	16.0	8.9
	2020	15.7	14.0	21.3	23.8	16.7	8.6
近畿	2019	8.8	12.2	21.9	24.8	20.7	11.5
	2020	10.5	11.9	20.5	26.3	20.4	10.4
中国	2019	8.8	13.0	22.0	23.8	20.8	11.6
	2020	11.3	12.4	20.9	25.2	19.6	10.5
四国	2019	11.7	14.4	21.8	23.4	18.5	10.1
	2020	12.5	14.0	20.8	24.7	18.6	9.3
九州	2019	15.4	24.0	24.4	17.6	12.8	5.8
	2020	15.6	21.8	23.0	21.7	13.2	4.7
沖縄	2019						
	2020						

図表 37-6 圏域別 宿泊者数シェア差(2019・2020fy 対比)

単位: %ポイント

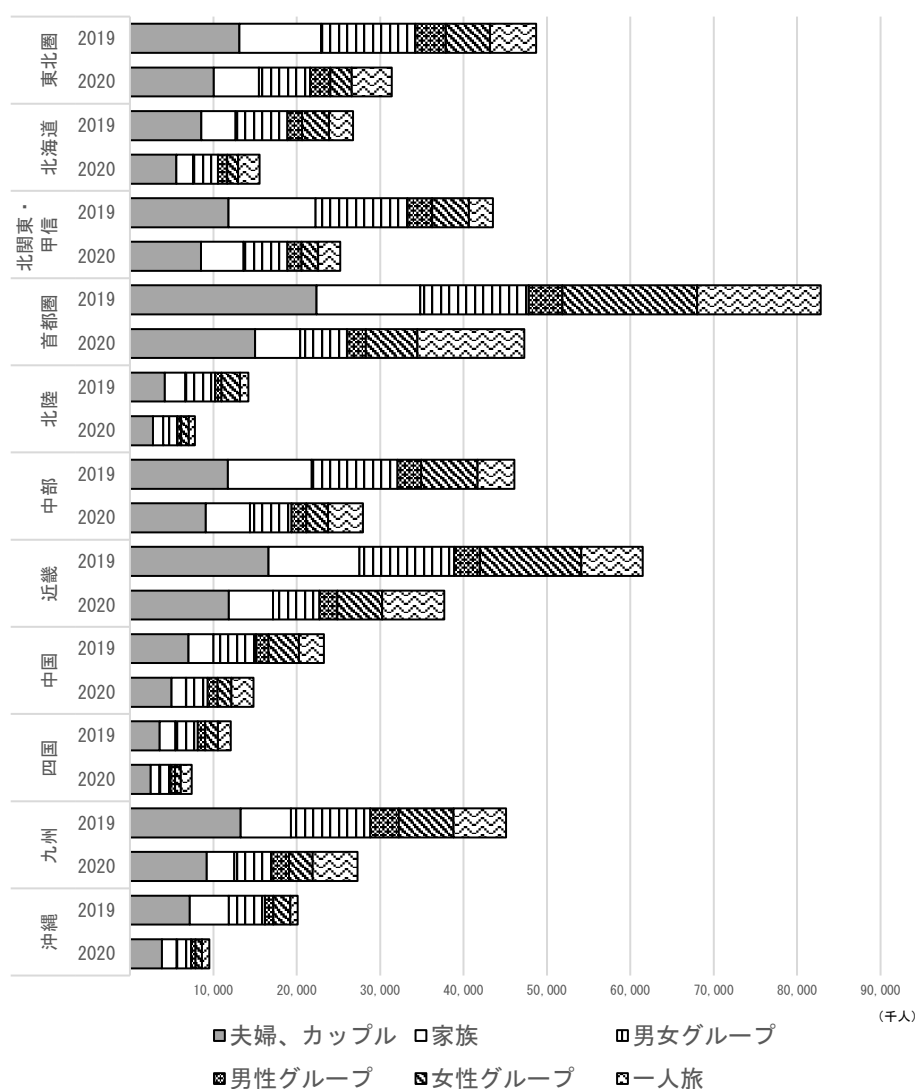
年代		20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
宿泊地	2019	0.7	▲0.9	▲0.5	1.6	0.2	▲1.0
	2020	1.3	▲0.4	▲1.6	0.8	0.5	▲0.6
北海道	2019	0.6	▲0.9	▲2.4	0.6	1.6	0.3
	2020	▲1.9	▲2.7	0.0	3.9	0.8	0.0
東北圏	2019	2.1	▲0.4	▲2.5	0.1	0.4	0.3
	2020	1.0	▲0.3	▲2.0	1.2	0.7	▲0.6
北関東・甲信	2019	0.5	▲1.8	▲1.8	2.7	0.7	▲0.3
	2020	1.6	▲0.3	▲1.5	1.5	▲0.3	▲1.1
首都圏	2019	2.5	▲0.6	▲1.1	1.4	▲1.1	▲1.1
	2020	0.7	▲0.4	▲1.0	1.3	0.1	▲0.8
北陸	2019	0.3	▲2.2	▲1.4	4.1	0.4	▲1.1
	2020						

③ 参加形態別

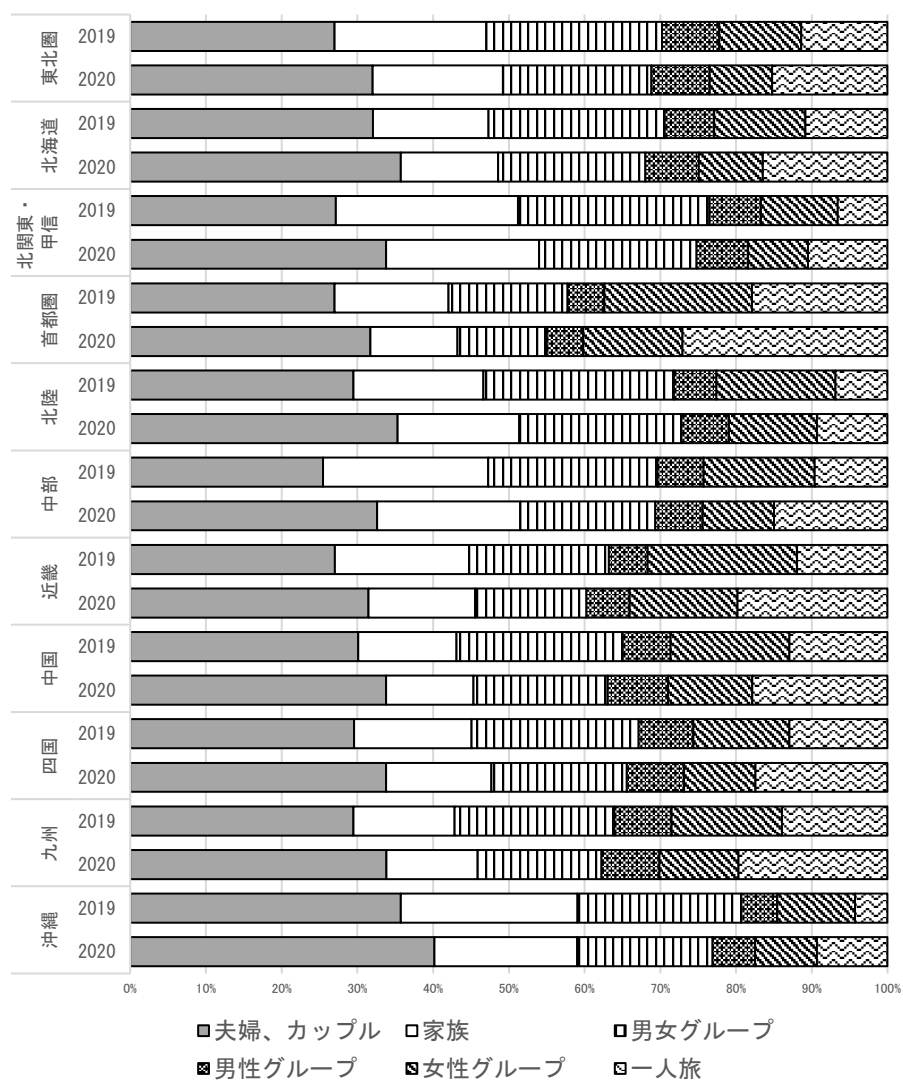
各地域を目的地とする宿泊者数を参加形態別に見ると、2019 年度では夫婦、カップルが全地域で最も割合が高く、男女グループ、家族などが後に続く。首都圏や近畿は、他地域に比べ女性グループの割合が高いのが特徴的といえる。

一方で、2020 年度では、ほぼ全ての参加形態で宿泊者数が減少しているが、近畿と沖縄では一人旅の宿泊数が増加している。また、全ての地域において家族、男女グループ、女性グループの落ち込みが大きい一方、夫婦、カップルの減少幅が小さい。その結果、夫婦、カップル、一人旅のシェアが拡大している。

図表 38-1 参加形態別宿泊者数（人数）



図表 38-2 参加形態別宿泊者数（構成比）



図表 38-3 圏域別 宿泊者数(内訳)

単位:千人

参加形態 宿泊地		夫婦、 カップル	家族	男女 グループ	男性 グループ	女性 グループ	一人旅	計
北海道	2019	8,572	4,090	6,223	1,745	3,223	2,902	26,755
	2020	5,551	1,992	3,022	1,098	1,310	2,556	15,529
東北圏	2019	13,140	9,765	11,303	3,689	5,269	5,546	48,713
	2020	10,048	5,405	6,152	2,414	2,590	4,776	31,384
北関東 ・甲信	2019	11,822	10,454	11,000	2,965	4,416	2,855	43,512
	2020	8,524	5,089	5,251	1,711	1,999	2,644	25,219
首都圏	2019	22,356	12,463	13,000	4,033	16,142	14,828	82,822
	2020	14,991	5,439	5,570	2,280	6,197	12,787	47,264
北陸	2019	4,185	2,434	3,568	800	2,229	974	14,191
	2020	2,746	1,251	1,665	489	907	721	7,778
中部	2019	11,745	10,045	10,306	2,814	6,764	4,421	46,096
	2020	9,112	5,288	4,985	1,749	2,635	4,183	27,952
近畿	2019	16,619	10,883	11,358	3,132	12,132	7,348	61,472
	2020	11,861	5,299	5,546	2,149	5,377	7,452	37,683
中国	2019	7,005	3,020	5,110	1,471	3,648	3,014	23,269
	2020	4,999	1,712	2,617	1,181	1,649	2,639	14,795
四国	2019	3,576	1,876	2,673	876	1,534	1,563	12,098
	2020	2,500	1,031	1,325	558	698	1,290	7,402
九州	2019	13,290	6,011	9,515	3,402	6,586	6,270	45,075
	2020	9,225	3,286	4,460	2,092	2,848	5,366	27,276
沖縄	2019	7,183	4,687	4,337	966	2,060	860	20,093
	2020	3,824	1,794	1,699	533	777	886	9,513

図表 38-4 圏域別 宿泊者数増減率(2019・2020fy 対比)

単位: %

参加形態 宿泊地		夫婦、 カップル	家族	男女 グループ	男性 グループ	女性 グループ	一人旅	計
北海道		▲35.2	▲51.3	▲51.4	▲37.1	▲59.4	▲11.9	▲42.0
東北圏		▲23.5	▲44.6	▲45.6	▲34.6	▲50.9	▲13.9	▲35.6
北関東・甲信		▲27.9	▲51.3	▲52.3	▲42.3	▲54.7	▲7.4	▲42.0
首都圏		▲32.9	▲56.4	▲57.1	▲43.5	▲61.6	▲13.8	▲42.9
北陸		▲34.4	▲48.6	▲53.3	▲39.0	▲59.3	▲25.9	▲45.2
中部		▲22.4	▲47.4	▲51.6	▲37.9	▲61.0	▲5.4	▲39.4
近畿		▲28.6	▲51.3	▲51.2	▲31.4	▲55.7	1.4	▲38.7
中国		▲28.6	▲43.3	▲48.8	▲19.7	▲54.8	▲12.5	▲36.4
四国		▲30.1	▲45.0	▲50.4	▲36.3	▲54.5	▲17.5	▲38.8
九州		▲30.6	▲45.3	▲53.1	▲38.5	▲56.8	▲14.4	▲39.5
沖縄		▲46.8	▲61.7	▲60.8	▲44.8	▲62.3	3.0	▲52.7

図表 38-5 宿泊者シェア(参加形態別)

単位: %

参加形態 宿泊地		夫婦、 カップル	家族	男女 グループ	男性 グループ	女性 グループ	一人旅
北海道	2019	32.0	15.3	23.3	6.5	12.0	10.8
	2020	35.7	12.8	19.5	7.1	8.4	16.5
東北圏	2019	27.0	20.0	23.2	7.6	10.8	11.4
	2020	32.0	17.2	19.6	7.7	8.3	15.2
北関東 ・甲信	2019	27.2	24.0	25.3	6.8	10.1	6.6
	2020	33.8	20.2	20.8	6.8	7.9	10.5
首都圏	2019	27.0	15.0	15.7	4.9	19.5	17.9
	2020	31.7	11.5	11.8	4.8	13.1	27.1
北陸	2019	29.5	17.2	25.1	5.6	15.7	6.9
	2020	35.3	16.1	21.4	6.3	11.7	9.3
中部	2019	25.5	21.8	22.4	6.1	14.7	9.6
	2020	32.6	18.9	17.8	6.3	9.4	15.0
近畿	2019	27.0	17.7	18.5	5.1	19.7	12.0
	2020	31.5	14.1	14.7	5.7	14.3	19.8
中国	2019	30.1	13.0	22.0	6.3	15.7	13.0
	2020	33.8	11.6	17.7	8.0	11.1	17.8
四国	2019	29.6	15.5	22.1	7.2	12.7	12.9
	2020	33.8	13.9	17.9	7.5	9.4	17.4
九州	2019	29.5	13.3	21.1	7.5	14.6	13.9
	2020	33.8	12.0	16.4	7.7	10.4	19.7
沖縄	2019	35.7	23.3	21.6	4.8	10.3	4.3
	2020	40.2	18.9	17.9	5.6	8.2	9.3

図表 38-6 宿泊者数シェア差(参加形態別)(2019・2020fy 対比)

単位: %ポイント

参加形態 宿泊地		夫婦、 カップル	家族	男女 グループ	男性 グループ	女性 グループ	一人旅
北海道		3.7	▲2.5	▲3.8	0.5	▲3.6	5.6
東北圏		5.0	▲2.8	▲3.6	0.1	▲2.6	3.8
北関東・甲信		6.6	▲3.8	▲4.5	0.0	▲2.2	3.9
首都圏		4.7	▲3.5	▲3.9	0.0	▲6.4	9.2
北陸		5.8	▲1.1	▲3.7	0.6	▲4.1	2.4
中部		7.1	▲2.9	▲4.5	0.2	▲5.2	5.4
近畿		4.4	▲3.6	▲3.8	0.6	▲5.5	7.8
中国		3.7	▲1.4	▲4.3	1.7	▲4.5	4.9
四国		4.2	▲1.6	▲4.2	0.3	▲3.3	4.5
九州		4.3	▲1.3	▲4.8	0.1	▲4.2	5.8
沖縄		4.5	▲4.5	▲3.7	0.8	▲2.1	5.0

以上のとおり宿泊者属性別に、他地域と比較して見ると、東北圏で見られたコロナ禍における国内宿泊旅行に係る以下の傾向は、全国全ての地域に現れている。

- ・ 首都圏需要が減少する一方で、自地域需要が増加。
- ・ 全ての年代層で需要が減少する一方で、比較的減少幅が小さい 20 代、50 代、60 代といった若者やアクティブシニア層のシェアが拡大。
- ・ 家族・グループなどの大人数での旅行は避け、夫婦、カップル、一人旅など少人数での旅行にシフト。

これらの傾向は、感染症に対する予防意識の高まりや、各地域における県民限定割引等の活用によるマイクロツーリズムへのシフトなどが、全国的に国内宿泊者の行動変容を促したと推測される。

4. マイクロツーリズムに関する分析

4-1. ポジショニング分析

4-1-1. 分析方法

国内宿泊市場について、コロナ禍における旅行として、自県や隣県を目的地とした近距離旅行（以下、「マイクロツーリズム」という。）が注目され、東北圏各県においてもマイクロツーリズムによる域内流動を重視する動きが見られた。こうした動きを踏まえ、以下では東北圏各県のマイクロツーリズムによる宿泊者数の動向に注目し、宿泊地（目的地）ベースの宿泊数カウントのほか、居住地（出発地）ベースの宿泊数カウントを用いた分析を行う。

分析に使用する比率として、ある県居住者のマイクロツーリズム圏内となる自県および隣県（隣接都道府県は図表 43 を参照）への旅行者数の割合を「マイクロツーリズム旅行者率（ α ）」、マイクロツーリズム圏内から当該県を訪れる宿泊者数の割合を「マイクロツーリズム獲得率（ β ）」とそれぞれ定義する。

（定義式）

マイクロツーリズム旅行者率（ α ）

＝当該県から当該県および隣県への宿泊者数/当該県を出発地とする宿泊者総数

マイクロツーリズム獲得率（ β ）

＝隣県から当該県への宿泊者数/当該県を目的地とする宿泊者総数

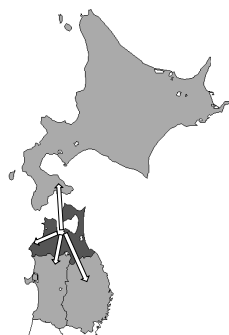
図表 39 比率算出の例（自県が青森県の場合）

居住地 宿泊地	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	・・・	計
北海道		a2					
青森県	b1	a1	b2		b3		B
岩手県		a3					
宮城県							
秋田県		a4					
：							
計		A					

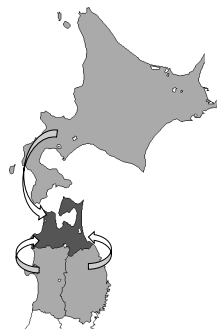
マイクロツーリズム獲得率（ β ）
 $= (b1 + b2 + b3) / B$

マイクロツーリズム旅行者率（ α ）
 $= (a1 + a2 + a3 + a4) / A$

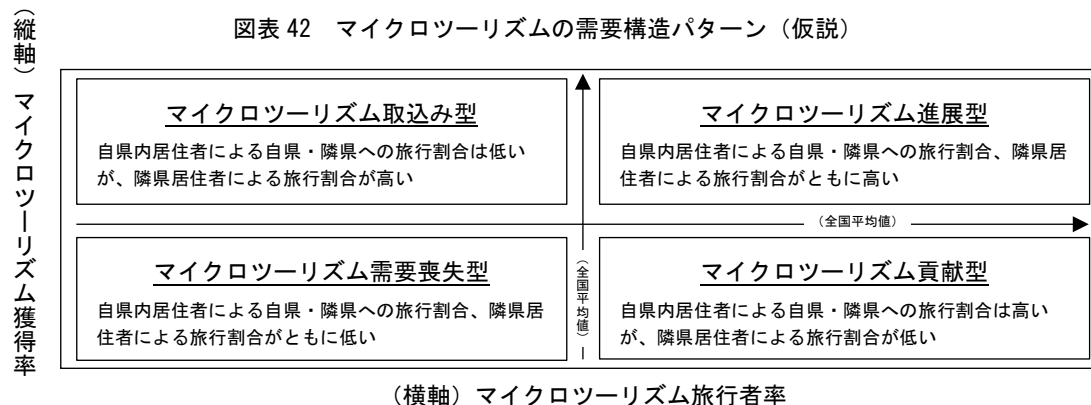
図表 40 青森県を出発地とするマイクロツーリズム



図表 41 青森県を目的地とするマイクロツーリズム



上記で求めた 47 都道府県の比率に関し、全国平均値を軸とした四象限（図表 42）にプロットすることで、東北圏各県の動向に関するポジショニング分析を行う。



図表 43 マイクロツーリズムにおける隣接都道府県の定義

自都道府県	隣接都道府県
北海道	青森県
青森県	北海道 岩手県 秋田県
岩手県	青森県 宮城県 秋田県
宮城県	岩手県 秋田県 山形県 福島県
秋田県	青森県 岩手県 宮城県 山形県
山形県	宮城県 秋田県 福島県 新潟県
福島県	宮城県 山形県 茨城県 栃木県 新潟県
茨城県	福島県 栃木県 埼玉県 千葉県
栃木県	福島県 茨城県 群馬県 埼玉県
群馬県	福島県 栃木県 埼玉県 新潟県 長野県
埼玉県	茨城県 栃木県 群馬県 千葉県 東京都 長野県 山梨県
千葉県	茨城県 埼玉県 東京都 神奈川県
東京都	埼玉県 千葉県 神奈川県 山梨県
神奈川県	千葉県 東京都 山梨県 静岡県
新潟県	山形県 福島県 群馬県 富山県 長野県
富山県	新潟県 石川県 長野県 岐阜県
石川県	富山県 福井県 岐阜県
福井県	石川県 岐阜県 滋賀県 京都府

自都道府県	隣接都道府県
山梨県	埼玉県 東京都 神奈川県 長野県 静岡県
長野県	群馬県 埼玉県 新潟県 富山県 山梨県 岐阜県 静岡県 愛知県
岐阜県	富山県 石川県 福井県 長野県 愛知県 三重県 滋賀県
静岡県	神奈川県 山梨県 長野県 愛知県
愛知県	長野県 岐阜県 静岡県 三重県
三重県	岐阜県 愛知県 滋賀県 京都府 奈良県 和歌山県
滋賀県	福井県 岐阜県 三重県 京都府
京都府	福井県 三重県 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県
大阪府	京都府 兵庫県 奈良県 和歌山県
兵庫県	京都府 大阪府 鳥取県 岡山県 徳島県
奈良県	三重県 京都府 大阪府 和歌山県
和歌山県	三重県 大阪府 奈良県
鳥取県	兵庫県 島根県 岡山県 広島県
島根県	鳥取県 広島県 山口県
岡山県	兵庫県 鳥取県 広島県 香川県
広島県	鳥取県 島根県 岡山県 山口県 愛媛県
山口県	島根県 広島県 福岡県
徳島県	兵庫県 香川県 愛媛県 高知県
香川県	岡山県 徳島県 愛媛県
愛媛県	広島県 徳島県 香川県 高知県
高知県	徳島県 愛媛県
福岡県	山口県 佐賀県 熊本県 大分県
佐賀県	福岡県 長崎県
長崎県	佐賀県
熊本県	福岡県 大分県 宮崎県 鹿児島県
大分県	福岡県 熊本県 宮崎県
宮崎県	熊本県 大分県 鹿児島県
鹿児島県	熊本県 宮崎県
沖縄県	(該当なし)

4-1-2. 分析結果

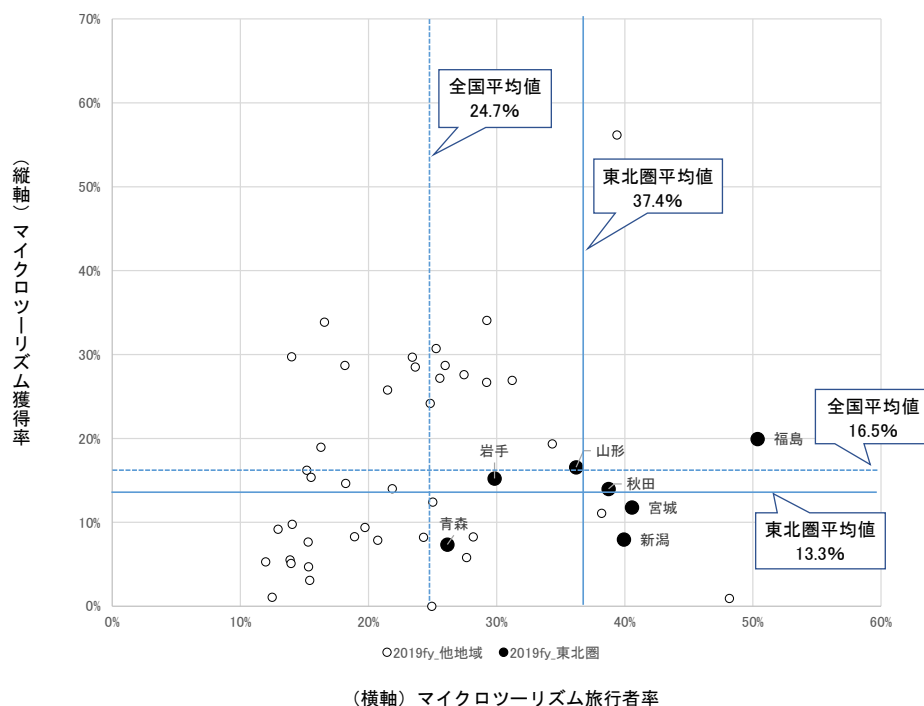
2019 年度・2020 年度の 2 か年度の動向を比較して見ると、2020 年度は 2019 年度に比べ全体的にマイクロツーリズム旅行者率（以下、旅行者率という。）およびマイクロツーリズム獲得率（以下、獲得率という。）ともに上昇し、全国平均では旅行者率は 24.0%ポイント（24.7%→48.7%）、獲得率は 4.1%ポイント（16.5%→20.6%）それぞれ上昇するなど、全国的にマイクロツーリズムへの意識が高まったことがうかがえる。

このうち東北圏平均は、旅行者率は 32.9%ポイント（37.4%→70.3%）、獲得率は 1.7%ポイント（13.3%→15.0%）とこちらも前年度よりもマイクロツーリズムが進展していることが見てとれる。

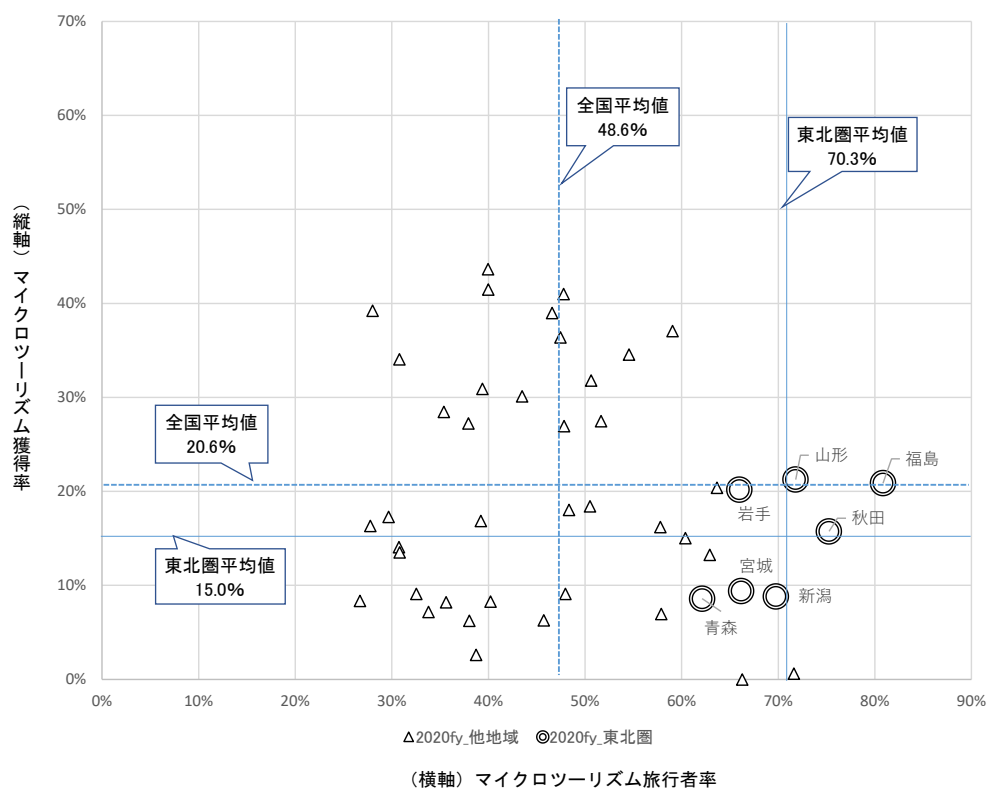
2020 年度の県別のポジショニングでは、山形県、福島県が旅行者率、獲得率ともに全国平均値を上回る「マイクロツーリズム進展型市場」であり、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、新潟県が旅行者率が全国平均値を上回り、獲得率が全国平均値を下回る「マイクロツーリズム貢献型市場」に分類される。

東北圏は他地域に比べ従来からマイクロツーリズム型の市場構造であったが、コロナ禍においてより自県内を旅行する傾向が強くなることで旅行者率が高くなる一方で、隣県の獲得率には寄与しなくなった結果、獲得率に関しては全国平均値と比較して小幅な上昇にとどまった。

図表 44-1 マイクロツーリズムの需要構造（2019fy）



図表 44-2 マイクロツーリズムの需要構造（2020fy）



図表 44-3 マイクロツーリズム旅行者率（自県割合）および獲得率

	2019fy			2020fy		
	旅行者率	（自県割合）	獲得率	旅行者率	（自県割合）	獲得率
青森県	26.2%	33.1%	7.4%	62.1%	57.5%	8.6%
岩手県	29.8%	53.7%	15.2%	66.0%	77.8%	20.2%
宮城県	40.6%	41.8%	11.8%	66.2%	47.7%	9.4%
秋田県	38.7%	26.5%	14.0%	75.2%	69.2%	15.7%
山形県	36.2%	38.9%	16.6%	71.8%	67.8%	21.3%
福島県	50.4%	59.2%	19.9%	80.8%	82.0%	20.9%
新潟県	39.9%	55.4%	8.0%	69.8%	76.8%	8.8%

図表 44-4 マイクロツーリズム旅行者率（自県割合）および獲得率前年差

単位：％ポイント

	旅行者率	（自県割合）	獲得率
青森県	36.0	24.3	1.2
岩手県	36.2	24.2	4.9
宮城県	25.6	5.9	▲2.4
秋田県	36.5	42.7	1.7
山形県	35.6	28.9	4.7
福島県	30.5	22.8	0.9
新潟県	29.8	21.4	0.8

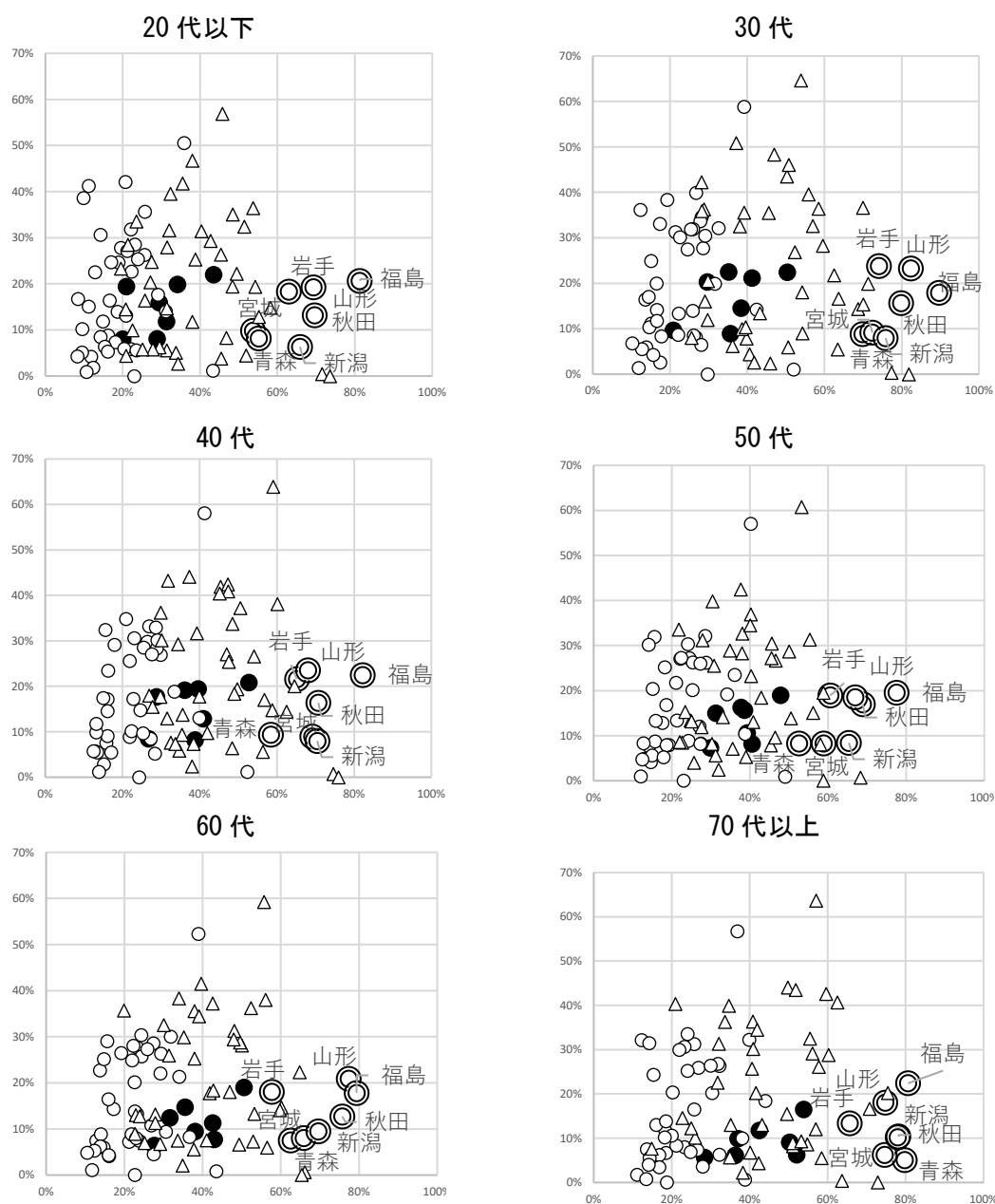
同様のポジショニング分析に関し、年代別、参加形態別の宿泊者属性毎に行った結果が以下のとおりである。

① 年代別

東北圏はどの年代においても全国と比較して旅行者率が高いことが分かる。特に各県とも30代の旅行者率が高い傾向にあり、獲得率に関してもやや高いことから、30代を中心にマイクロツーリズムへの行動変容が大きかったことが見受けられる。

図表 45 マイクロツーリズムの需要構造（年代別）

凡例：●2019 年度東北圏 ○2019 年度その他地域 ◎2020 年度東北圏 △2020 年度その他地域

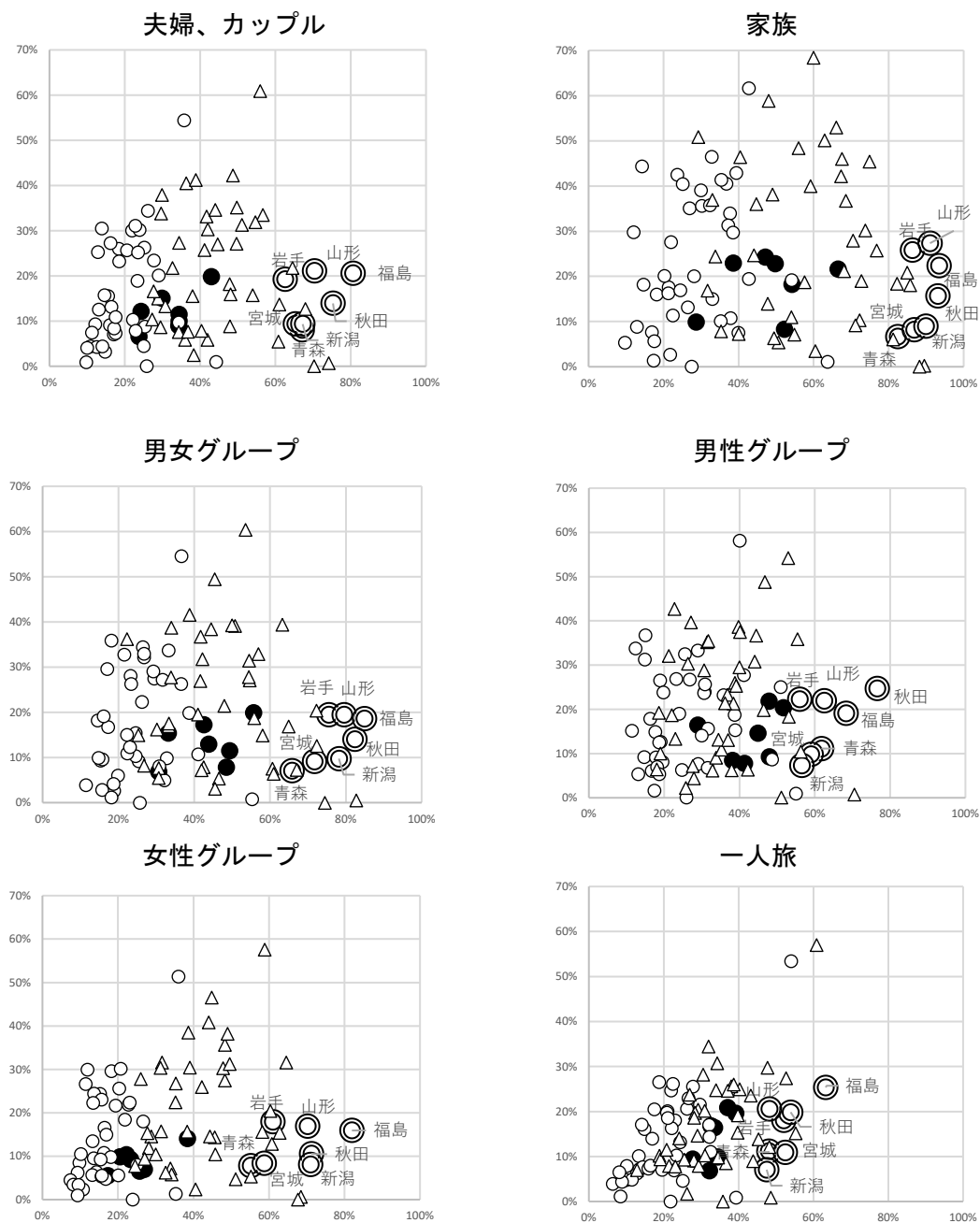


② 参加形態別

東北圏はどの参加形態においても全国と比較して旅行者率が高いことが分かる。特に各県とも家族の旅行者率が高い傾向にあり、家族を中心にマイクロツーリズムへの行動変容が大きかったことが見受けられる。

図表 46 マイクロツーリズムの需要構造（参加形態別）

凡例：●2019 年度東北圏 ○2019 年度その他地域 ◎2020 年度東北圏 △2020 年度その他地域



4-2. マイクロツーリズム指数

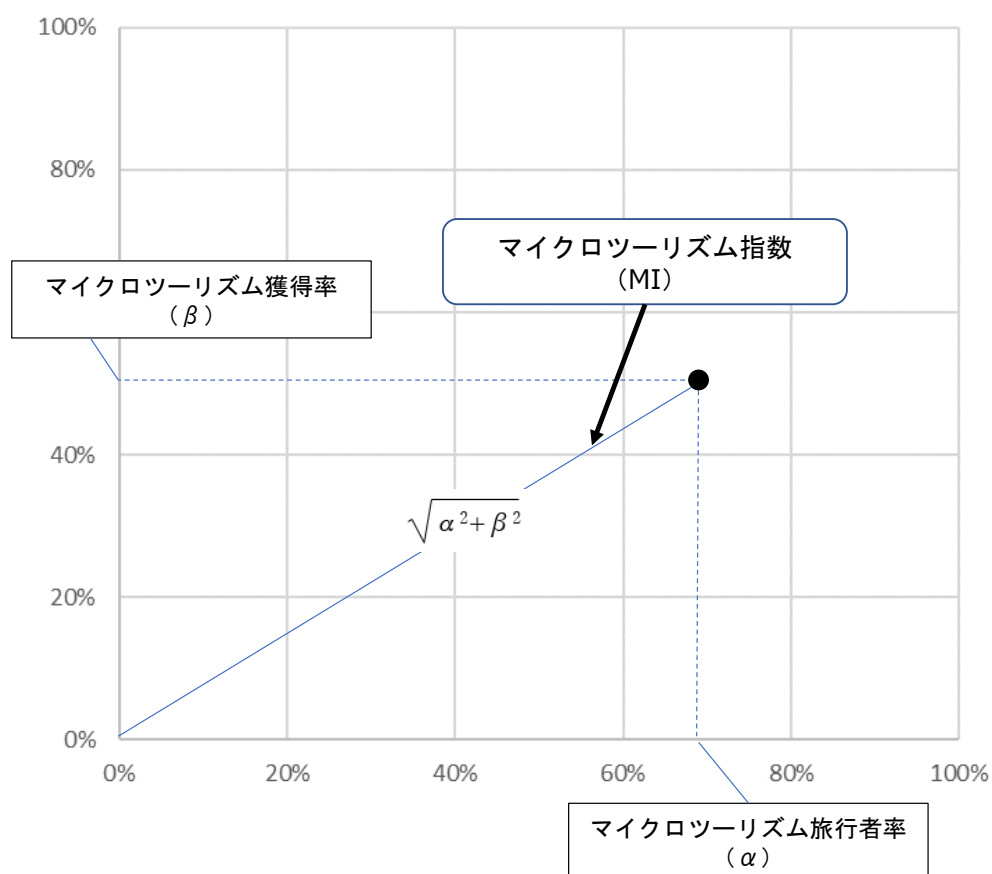
4-2-1. 分析方法

47 都道府県における旅行者率（ α ）および獲得率（ β ）を用いて以下のとおりマイクロツーリズム指数を定義し、指数を算出した。

算出した指数から、各都道府県におけるマイクロツーリズムの進展度を分析した。

$$\text{(定義式)} \\ \text{マイクロツーリズム指数 (MI)} = \sqrt{\alpha^2 + \beta^2} \quad (0 < \text{MI} \leq \sqrt{2})$$

図表 47 マイクロツーリズム指数算定イメージ



4-2-2. 分析結果

47 都道府県の旅行者率および獲得率からマイクロツーリズム指数を算定した結果、東北圏は全ての県において全国平均を大きく上回る水準でマイクロツーリズムが進展しており、多くの県が全国トップクラスに位置付けられた。

こうした背景には、東北圏はコロナ感染症の拡大が他地域に比べ抑制されていたことや、7月の東北観光推進機構による「東北・新潟応援！絆キャンペーン」による域内観光流動に向けた取組みや、9月に東北・新潟の県知事等による東北・新潟域内の観光流動活性化のための「東北・新潟共同メッセージ」など東北・新潟が一体となった取組みが発表され、関連する各県の旅行キャンペーン効果があったこと、などが考えられる。

図表 48 マイクロツーリズム指数（都道府県別）

2019 年度			2020 年度			年度差（2020fy-2019fy）	
	都道府県	指数		都道府県	指数	都道府県	差
1	山梨	0.69	1	山梨	0.84	青森	0.36
2	福島	0.54	2	福島	0.83	岩手	0.36
3	北海道	0.48	3	秋田	0.77	宮城	0.25
4	岐阜	0.45	4	山形	0.75	秋田	0.36
5	宮城	0.42	5	北海道	0.72	山形	0.35
6	熊本	0.41	6	新潟	0.70	福島	0.29
7	秋田	0.41	7	鳥取	0.70	新潟	0.30
8	新潟	0.41	8	岩手	0.69		
9	山形	0.40	9	長野	0.67		
10	埼玉	0.40	10	宮城	0.67	全国平均	0.23
11	宮崎	0.40	11	沖縄	0.66		
12	静岡	0.40	12	熊本	0.65		
13	長野	0.39	13	宮崎	0.64		
14	鳥取	0.39	14	岐阜	0.63		
15	茨城	0.39	15	青森	0.63		
：	：	：					
21	岩手	0.33					
：	：	：					
29	青森	0.27					
全国平均		0.30	全国平均		0.53		

5. まとめ

本書では、国内宿泊旅行に関する観光ビッグデータを用いて、「居住地」、「年代」、「参加形態」といった宿泊者の属性情報を切り口とした細かいメッシュでの分析を行った。

その結果、コロナ禍における東北圏の観光の特徴として、以下が明らかとなった。

【コロナ禍における東北圏の観光の特徴】

国内宿泊市場が減少するなか東北圏居住者が需要を下支え

- ・ 2020 年度の東北圏の宿泊者数は 3,138 万人、前年度比▲35.6%減の大幅な減少となり、コロナ前の 2019 年度の水準の約 3 分の 2 まで減少した。
- ・ 需要層は、コロナ前の首都圏居住者中心から東北圏居住者中心へシフトした。年代別には 30 代から 60 代の幅広い年代層から 20 代、50 代、60 代の若年、アクティブシニア層へシフトし、参加形態別には家族、グループによる大人数旅行から夫婦、カップル、一人旅の少人数旅行へとシフトした。

マイクロツーリズムの進展は全国トップクラス

- ・ ポジショニング分析では、山形県、福島県が「マイクロツーリズム進展型市場」、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、新潟県が「マイクロツーリズム貢献型市場」に分類され、総じてマイクロツーリズムに対する意識が高い傾向にあることが見受けられる。特に、30 代や家族といった、前年度からの宿泊者数の減少が大きい層において、マイクロツーリズムを好む傾向にあった。
- ・ マイクロツーリズム指数による分析では、東北圏各県が全国トップクラスを占め、東北圏内各県は他地域と比較してマイクロツーリズムの進展度合いが極めて大きかったことが分かった。

今後の観光需要の回復は、コロナ感染症の状況に大きく依存するが、今回の分析結果から見えた、東北圏全体の観光市場の底上げに向けた課題は以下が挙げられ、アフターコロナも見据えた今後の方策を考えるうえで参考とされたい。

【アフターコロナを見据えた東北圏の観光の課題】

○データに基づく行動変容を捉えた集客

コロナ禍では、従来は集客が見込めた夏祭りや各種イベントが一部で中止されるとともに、旅行者の居住地や年代、参加形態によって行動変容の傾向が異なるなど、従前に蓄積されたデータでは戦略立案が困難な場合も想定される。

今回の分析では、20代の若者や、50代、60代のアクティブシニア層が宿泊旅行に対し積極的な傾向にあり、旅のスタイルとしては夫婦、カップルや一人旅といった少人数旅行が好まれる傾向が見えた。また、コロナ感染症の危機意識の高まりから、比較的に旅行には消極的であった30代や家族はマイクロツーリズムを好む傾向にあった。

このような宿泊者属性毎に異なる行動変容を捉え、新たな需要層の取込みやリピート需要の獲得につながるよう、コロナ禍で従来とは異なる傾向で揺れ動くデータに基づく誘客戦略の立案と、実施結果のモニタリングをこまめに重ねることが求められる。

○広域連携によるマイクロツーリズムの進展

東北圏は他地域に比べ従来からマイクロツーリズムが進展している地域であるが、コロナ禍において各県が実施した県民限定の旅行補助などを背景に、さらにその傾向が強くなり、なかでも各県在住者による自県内旅行の割合が高いことが分かった。

その一方で、各自県内の居住者に大きく依存した市場では、市場規模にも限界があると考えられる。そのため、東北圏各県において周辺隣県も含めた広域連携による圏域内の市場拡大や、域内流動をさらに高める取組みが求められる。

今後、コロナ感染症の収束に伴い首都圏など域外需要の回復が期待されるが、こうした域外需要の回復に過度に依存せず、マイクロツーリズムを含む域内流動を促進することが、東北圏の観光市場をより底堅く、強固なものにしていくものと考えられる。その取組みを通じ域内観光地の磨き上げが継続的に行われることで、東北圏域外在住の旅行者にとって、更にはやがて迎え入れるであろうインバウンドにとっても、魅力的な市場形成につながるものと考えられる。

[参考文献]

観光庁「宿泊旅行統計調査」（各年版）

観光庁「令和 3 年版 観光白書」（2021 年）

（一社）東北観光推進機構（2020 年 9 月 7 日）「東北・新潟共同メッセージ」
(https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0181/181_101_file.pdf)

**観光ビッグデータの活用による
東北圏の宿泊旅行市場構造に関する調査**

2021 年 7 月発行

発行所: 公益財団法人 東北活性化研究センター

住 所: 〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北 9 階

T E L: 022-222-3394 F A X: 022-222-3395

U R L: <https://www.kasseiken.jp/>